人間学特論 I 授業コード	107110      村日上いパロいが	<b>明</b> 達左	単位数	2単位
	M7110   科目ナンバリング      崎川 修	<b>開講年度学期</b>	2023年度第1期	
担当者氏名				
時間割備考				
授業形態(主)	1講義			
授業形態(副) 担当形態	<b>2</b> 演習   単独			
研究分野 (大学院)				
本授業の概要 現代の人間社会の	様々な側面に見られるケアの営みについて、その人間論的、社会哲学的基本をはいる。	盤を探求する。		
アクティブラーニ	ングの実施内容 グループ・ディスカッション			
到達目標			対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断	・表現力/3主体性)
ケアの概念 7 1	を人間の本質と関連付けて理解し説明することができる。		知識・技能/思考・判断・表現	
人間社会にお	おける実践上の困難の解決について、臨床哲学的視座から考察することが	できる。	知識・技能/思考・判断・表現	見力
3				
4				
5				
成績評価の基準 授業時の発表	長の内容及び授業態度(50%)		対応する到達目標の番号 1/2	
'				
2 期末レポー	· (50%)		1/2	
3				
4				
5				
実務経験のある教員実務経験の授業への	員による授業科目 Di年日本法			
天伤在駅の技术へ	の点用力法			
	- L 710 44			
日本語以外の言語( 授業予定一覧	こよる授業			
授第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	してのケア   			

定期試験
期末レポートを提出してもらう。
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
予習:事前に指定されたテキストや資料の該当箇所を熟読し、検討事項を整理しておく。(60分)
復習:講義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび関連資料を確認する。(60分)
<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>
必携書・参考書(教科書販売以外)
参加者と相談の上決定する。
PINTE THE VENEZA OF THE PROPERTY OF THE PROPER
オフィスアワー
オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。
連絡先
sakikawa@m.ndsu.ac.jp
留意事項

人間学特論II 授業コード	M7115	単位数   単位数   単元	2単位
	崎川 修	一粉 [2023年及第2期	
時間割備考			
授業形態(主) 授業形態(副)	1 講義 2 演習		
担当形態 研究分野 (大学院)	上 上 上 上 上 上 し し し し し し し し し し し し し		
本授業の概要			***
し, それらに向きむ	様々な側面に見られるケアの営みについて, その人間論的、社会哲学的基盤の上で 合うためのケア実践の具体的なあり方を追求する。	, ケアが向かう社会的誄越としての「	<b>長大と</b> な嘆」に りい ( <b>有</b> 祭
アクティブラーニン	yグの実施内容 グループ・ディスカッション	対応するディプロマポリ	シー
到達目標		(1知識・技能/2思考・	判断・表現力/3主体性)
ケアの概念 7 1 1	- 人間の本質と関連付けて理解し説明することができる。	知識・技能/思考・判断	・表現力
人間社会にお	いける実践上の困難の解決について、臨床哲学的視座から考察することができる。	知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
3			
4			
5			
成績評価の基準 担業時の発表	長及び授業態度(50%)	対応する到達目標の番号 1/2	
2 期末レポート	(50%)	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教員実務経験の授業への	[による授業科目 D活用方法	•	
日本語以外の言語(			
授業予定一覧 授業計画	-0.00		
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	なと文化 D展開 プロセスとその多様性 アケアの方法論 アアとスピリチュアルケア D発表と討論(死に向き合う) アの人間学 ニトラウマ D哲学 画味論		

定期試験
期末レポートを提出してもらう。
試験のフィードバックの方法
*
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 
予習:事前に指定されたテキストや資料の該当箇所を熟読し、検討事項を整理しておく。(60分) 復習:講義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび関連資料を確認する。(60分)
及日・  竹が   1    1    1    1    1    1    1
<b>ン 性 キ / 北 幻 キ に 主 \</b>
必携書(教科書販売)
心惟主,矣夬主 (析利主服主以前)
必携書・参考書(教科書販売以外) 参加者と相談の上決定する。参考書は適宜紹介する。
タルロC1ロ以ソールだって。プラ百の型具型リカック。
オフィスアワー
オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。
連絡先
建始元 sakikawa@m.ndsu.ac.jp
outrituation rada, as. Je
留意事項

女性学 授業=	性特論Ⅰ I ー ド <b>I</b>	M7120	科目ナンバリング		開講年度学期	単位数 2023年度第1期	2単位
担当者		山下 美紀	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		100817 1 2 7 777	12020   12/31 : 70	
時間害	備考						
授業形	態(主)	1講義					
担当形	態(副) 態						
研究分本授業	↑野(大学院) ≰の概要	人間社会論					
決策を科学的ジェン	:考えます。19 ロな分析の対象 ・ダー視点での	970年代に男女の急 をとされてこなかっ )研究の射程の広が	差異と不平等といった男性	中心主義への批判と抵抗 ようになりました。本記	亢を目指して女性学が誕生	し、近代社会における「	を取り巻いている諸問題の解 「女」の領域と位置付けられ、 『一研究の立ち位置を確認し、
		<b>ノグの実施内容</b>	グループ・ディスカ	ッション			11.5.
到達目	標					対応するディプロマポ (1知識・技能/2思考	リシー ・判断・表現力/3主体性)
1	フェミニズム	xの歴史を知り、討	说明することができる			知識・技能/思考・判	断・表現力
2	ジェンダー研	T究の意義を説明す	<b>することができる</b>			知識・技能/思考・判	断・表現カ/主体性
3	現在のジェン	,ダー問題の状況を	を把握し、その解決に資す	る案を提示することがで	<b>ごきる</b>	知識・技能/思考・判	断・表現力/主体性
4							
5							
成績評	「 価の基準					対応する到達目標の番	号
		対論への取り組み	30%			1/2/3	-
2	課題・レポー	-ト 30%				1/2/3	
_	最終レポート	- 40%				1/2/3	
3	42.11						
4							
5 実務経	を験のある教員 と	による授業科目		1			
実務経	験の授業への	)活用方法		•			
日本語授業予	以外の言語に 定一覧	こよる授業					
<u>授</u> 1234567891111業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ジェンダーキ 日本の社会保 日本の社会保 日本の社会保	型動の歴史 記の射程 ボー こンダー ボー フーク (フ・バランス					

定期試験
最終レポート
54 FA O T 1 1 1 2 1 4 O T 1 T
試験のフィードバックの方法 課題レポートについて、コメントを付して返却する
床庭 レバードに づいて、コメントを刊 して返却する
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
講義内容に関わる資料や文献をその都度紹介する。次回の講義時までに必ず目を通し、理解を深めてもらいたい(各回4時間程度)
講義終了後は、授業内容や討論から得た知見を参考に、ジェンダー研究を進めていくうえで必要な作業に積極的に取り組んでもらいたい(各回4時間程度)
<b>ソルキ / 北 以 キ に キ \</b>
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
参考文献や資料はその都度紹介・配付する。
オフィスアワー
授業中に指示する 随時、メールで質問を受け付ける
連絡先
miki@m.ndsu.ac.jp
留意事項 自分の常識を相対化するため、グループディスカッションやグループワークを行うことがある
目がの常識を相対化するため、グループディスカッションやグループグーグを行うことがある 現代社会のジェンダー問題を知るために、学外での実習を行うことがある

女性学特論II 授業コード	M7125   科目ナンバリング	開講年度学期	単位数 2023年度第2期	2単位
	M/125   科目デンバリング   山下 美紀	刑舑十及于别	2020年及弟と朔	
担当者氏名				
時間割備考				
授業形態(主)	1 講義			
授業形態(副) 担当形態	単独			
研究分野(大学院 本授業の概要				
この授業では、19 関係とそれを生み	160年代の第二波フェミニズム以降、学際的な学問分野として登場して 出す社会構造を読み解くことを目指します。ジェンダーやセクシュア 会へ発信する力を養います。			
アクティブラーニ	ングの実施内容 グループ・ディスカッション		++++	
到達目標			対応するディプロマポリ? (1知識・技能/2思考・	シー 判断・表現力/3主体性)
「標準」や 1	「正常」がどのような力学のなかで構築されてきたのかを説明するこ	とができる	知識・技能/思考・判断	
ジェンダー	問題に関連する時事的課題に目を向け、批判的に考察することができ	<b>a</b>	知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
他者への想 3	像力を大切にするとともに、俯瞰的な視野から自分の意見を述べるこ	とができる	知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1 授業および	討論への取り組み 30%		1/2/3	
2 課題・レポ	- F 30%		1/2/3	
	F 40%		1/2/3	
3 取				
4				
5				
■ 実務経験のある教 実務経験の授業へ	員による授業科目			
日本語以外の言語 授業予定一覧	11による技未			
12334567891111111233456789111111111111111111111111111111111111	てのジェンダー ウカ学 ティーとジェンダー 助 ジェンダー ンダー ママス・バイアス			

定期試験
最終レポート
試験のフィードバックの方法
課題レポートについて、コメントを付して返却する
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 講義中では関する後期 とかばするの 初度の本人 からの 講義は カスに 必ず日 も ほし 理解する アトライン (名 日 4 時間 9 年)
講義内容に関わる資料や文献をその都度紹介する。次回の講義時までに必ず目を通し、理解を深めてもらいたい(各回4時間程度) 講義終了後は、授業内容や討論から得た知見を参考に、ジェンダー研究を進めていくうえで必要な作業に積極的に取り組んでもらいたい(各回4時間程度)
時我称
L 必携書(教科書販売)
<b>少</b> 仿音(软件音版儿)
必携書・参考書(教科書販売以外)
参考文献や資料はその都度紹介・配付する。
+-,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
オフィスアワー 授業中に指示する
随時、メールで質問を受け付ける
連絡先
miki@m.ndsu.ac.jp
留意事項
自分の常識を相対化するため、グループディスカッションやグループワークを行うことがある 現代社会のジェンダー問題を知るために、学外での実習を行うことがある
現れ社会のフェブター问題を知るために、子外での美音を行うことがある 

社会倫理学特論! 授業コード	M7130	単位数 2単位 2023年度第1期	
担当者氏名	崎川 修	2023年度第「朔	
時間割備考			
授業形態(主) 授業形態(副)	1 講義		
担当形態研究分野(大学院)	単独		
本授業の概要	·		71. 2000
	をめぐる社会倫理学的な問題を, いわゆる「生命倫理」を起点としつつ, その哲学的基盤や思る「生の統治」と, その非人間性に注目しつつ, より統合的な「環境倫理」の視点から「人間に探っていく。		
アクティブラーニ	ングの実施内容 グループ・ディスカッション		
到達目標		対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・表現)	力/3主体性)
生命倫理の 1 る。	者問題についての知識を,その構造的契機や社会背景と結び付けて理解し説明することができ	知識・技能/思考・判断・表現力	
統合的な人 2 ができる。	間理解に基づいて、生命倫理にかかわる諸課題への応答可能性について主体的に考察すること	知識・技能/思考・判断・表現力/主	体性
3			
4			
5		사다 로 조제 출 모 특	
成績評価の基準 担 授業時の発表	表および授業態度 (50%)	対応する到達目標の番号 1/2	
2 期末レポー	F (50%)	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教実務経験の授業へ	員による授業科目 の活用方法		
日本語以外の言語			
授業予定一覧	ち」のケアをめぐる倫理的問い		
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	理の問題圏 れる生と死 診断と人工妊娠中絶 値技術の諸問題 ン技術の諸問題 の発表とは何か 定の思想生生義 フケアを諸問題 の発表とは何か での思生生主義 フケアの諸問題		

定期試験
期末レポートを提出してもらう。
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
予習:事前に指定されたテキストや資料の該当箇所を熟読し、検討事項を整理しておく。(60分)
復習:講義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび関連資料を確認する。(60分)
业携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
受講者と相談の上決定する。
オフィスアワー
オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。
連絡先
sakikawa@m.ndsu.ac.jp
留意事項

社会倫理学特論II 授業コード	M7135	単位数 2023年度第2期	2単位
	M/135   村日ナンバリング	2023年度第2期	
担当者氏名			
時間割備考			
授業形態 (主)	1 講義		
授業形態(副) 担当形態	2 演習       単独		
研究分野 (大学院) 本授業の概要	人間社会論		
「いのち」のケアでより統合的な「環境	をめぐる社会倫理学的な問題を,それらの問題の構造的契機である「生の統治」と,その非人 竟倫理」の視点から「人間的生」の可能性を受け取り直す可能性を探っていく。	間性に注目しつつ,カト!	リックの社会教説のうちに,
アクティブラーニン	ッグの実施内容 グループ・ディスカッション	対応するディプロマポリ	·-
到達目標		(1知識・技能/2思考	・判断・表現力/3主体性)
生命倫理の記 1 る。	ができまりますができます。	知識・技能/思考・判断	・表現力
統合的な人間 2 ができる。	<b>『理解に基づいて、生命倫理にかかわる諸課題への応答可能性について主体的に考察すること</b>	知識・技能/思考・判断	・表現力/主体性
3			
4			
5			
成績評価の基準 担業時の発表	<b>長および授業態度(50%)</b>	対応する到達目標の番号  1/2	•
カラス	~ (50%)	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教員実務経験の授業への		•	
日本語以外の言語(			
授業予定一覧 第 1 回:「いの <sup>7</sup>			
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	5 ) のケル のかけいのち」 ウィーネ・ヴィテ」(教皇オーネ・パウロ 2世) ラウダート・シ」(教皇コース・パウロ 2世) ラウダート・シ」を読む(第 1 章) ボート・シ」を読む(第 2 章) ガート・シ」を読む(第 3 章) 力計論と発表(「ラウダート・シ」前半部) ボート・シ」を読む(第 5 章) ボート・シ」を読む(第 5 章) ガート・シ」を読む(第 6 章) 力計論と発表(「ラウダート・シ」後半部) 別計論と発表(「ラウダート・シ」を記む(第 6 章) カ計論と発表(「ラウダート・シ」を記さいのち」		

	C+ 405 PZ
平前に財産されたテキストや党料の技術箇所を掲録し、検討事項を整理しておく。(60分)     俊智 講義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび関連資料を確認する。(60分)     必携書・参考書(教科書販売)     必携書・参考書(教科書販売)     必携書・参考書(教科書販売)     ・のの書類 では、「おり、「カトリック中央協議会、2016     ・の他、適宜授業内で紹介する。     ・おり、適宜授業内で紹介する。     ・おり、「カトリック中央協議会、2016     ・おり、「カトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリック	正期試験
平前に財産されたテキストや党料の技術箇所を掲録し、検討事項を整理しておく。(60分)     俊智 講義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび関連資料を確認する。(60分)     必携書・参考書(教科書販売)     必携書・参考書(教科書販売)     必携書・参考書(教科書販売)     ・のの書類 では、「おり、「カトリック中央協議会、2016     ・の他、適宜授業内で紹介する。     ・おり、適宜授業内で紹介する。     ・おり、「カトリック中央協議会、2016     ・おり、「カトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリック	
平前に財産されたテキストや党料の技術箇所を掲録し、検討事項を整理しておく。(60分)     俊智 講義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび関連資料を確認する。(60分)     必携書・参考書(教科書販売)     必携書・参考書(教科書販売)     必携書・参考書(教科書販売)     ・のの書類 では、「おり、「カトリック中央協議会、2016     ・の他、適宜授業内で紹介する。     ・おり、適宜授業内で紹介する。     ・おり、「カトリック中央協議会、2016     ・おり、「カトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリックトリック	
平前に財産されたテキストや党料の技術箇所を掲録し、検討事項を整理しておく。(60分)     復習、講義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび関連資料を確認する。(60分)     必携書・参考書(教科書販売)     必携書・参考書(教科書販売)     必携書・参考書(教科書販売)     公债書・参考書(教科書販売以外)     (の書物ラウタート・24 枚皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016     その他、適宜授業内で紹介する。     オフィスアワー オフィスアワー オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。     連絡先     ablk (kaseam.ndsu.ac.jp	
子習: 事前に指定されたテキストや資料の該当箇所を熟练し、検討事項を整理しておく。 (60分) 復習: 講義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび制造資料を確認する。 (60分)  必携書 (数料書販売)  必携書 (数料書販売以外)  (必携書)  (必携書)  (必携書)  (数型 )  (必用書版売以外)  (必携書)  (必用書版売以外)  (必携書)  (必用書版売以外)  (の用書版売以外)  (の用書版表)  (の用書版表表)  (の用書版表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	試験のフィートハックの方法
子習: 事前に指定されたテキストや資料の該当箇所を熟练し、検討事項を整理しておく。 (60分) 復習: 講義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび制造資料を確認する。 (60分)  必携書 (数料書販売)  必携書 (数料書販売以外)  (必携書)  (必携書)  (必携書)  (数型 )  (必用書版売以外)  (必携書)  (必用書版売以外)  (必携書)  (必用書版売以外)  (の用書版売以外)  (の用書版表)  (の用書版表表)  (の用書版表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	
子習: 事前に指定されたテキストや資料の該当箇所を熟练し、検討事項を整理しておく。 (60分) 復習: 講義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび制造資料を確認する。 (60分)  必携書 (数料書販売)  必携書 (数料書販売以外)  (必携書)  (必携書)  (必携書)  (数型 )  (必用書版売以外)  (必携書)  (必用書版売以外)  (必携書)  (必用書版売以外)  (の用書版売以外)  (の用書版表)  (の用書版表表)  (の用書版表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	
子習: 事前に指定されたテキストや資料の該当箇所を熟练し、検討事項を整理しておく。 (60分) 復習: 講義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび制造資料を確認する。 (60分)  必携書 (数料書販売)  必携書 (数料書販売以外)  (必携書)  (必携書)  (必携書)  (数型 )  (必用書版売以外)  (必携書)  (必用書版売以外)  (必携書)  (必用書版売以外)  (の用書版売以外)  (の用書版表)  (の用書版表表)  (の用書版表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	
後習:議義内で指摘された問題点を踏まえてテキストおよび関連資料を確認する。 (60分)	準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
必携書 (教科書販売以外)         (必携書) 参考書 (教科書販売以外)         (必携書) ラヴート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         (回動 ラウダート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         その他、適宜授業内で紹介する。         オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。         連絡先 saki klawalēm ndsu, so. jp	予省:事前に指定されたテキストや資料の該当箇所を熟読し、検討事項を整理しておく。(60分)
必携書・参考書(教科書販売以外)         (必携書)         同国助 ラウダート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         その他、適宜授業内で紹介する。         オフィスアワー         オフィスアワー         オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。         連絡先         saki kawa@m. ndsu. ac. jp	復省:講義内で指摘された同題点を始まえてデキストねより関連資料を確認する。(00万)
必携書・参考書(教科書販売以外)         (必携書)         同国助 ラウダート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         その他、適宜授業内で紹介する。         オフィスアワー         オフィスアワー         オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。         連絡先         saki kawa@m. ndsu. ac. jp	
必携書・参考書(教科書販売以外)         (必携書)         同国助 ラウダート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         その他、適宜授業内で紹介する。         オフィスアワー         オフィスアワー         オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。         連絡先         saki kawa@m. ndsu. ac. jp	
必携書・参考書(教科書販売以外)         (必携書)         同国助 ラウダート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         その他、適宜授業内で紹介する。         オフィスアワー         オフィスアワー         オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。         連絡先         saki kawa@m. ndsu. ac. jp	
必携書・参考書(教科書販売以外)         (必携書)         同国助 ラウダート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         その他、適宜授業内で紹介する。         オフィスアワー         オフィスアワー         オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。         連絡先         saki kawa@m. ndsu. ac. jp	
必携書・参考書(教科書販売以外)         (必携書)         同国助 ラウダート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         その他、適宜授業内で紹介する。         オフィスアワー         オフィスアワー         オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。         連絡先         saki kawa@m. ndsu. ac. jp	
必携書・参考書(教科書販売以外)         (必携書)         同国助 ラウダート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         その他、適宜授業内で紹介する。         オフィスアワー         オフィスアワー         オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。         連絡先         saki kawa@m. ndsu. ac. jp	
必携書・参考書(教科書販売以外)         (必携書)         同国助 ラウダート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         その他、適宜授業内で紹介する。         オフィスアワー         オフィスアワー         オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。         連絡先         saki kawa@m. ndsu. ac. jp	
必携書・参考書(教科書販売以外)         (必携書)         同国助 ラウダート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         その他、適宜授業内で紹介する。         オフィスアワー         オフィスアワー         オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。         連絡先         saki kawa@m. ndsu. ac. jp	
必携書・参考書(教科書販売以外)         (必携書)         同国助 ラウダート・シ』 教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016         その他、適宜授業内で紹介する。         オフィスアワー         オフィスアワー         オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。         連絡先         saki kawa@m. ndsu. ac. jp	
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	2015百 \
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	
《必携書》 『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	がはま・ <u> </u>
『回勅 ラウダート・シ』教皇フランシスコ、カトリック中央協議会、2016 その他、適宜授業内で紹介する。 オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。 連絡先 sak i kawa@m. ndsu. ac. jp	2019日 201日(156日日 156日日
その他、適宜授業内で紹介する。  オフィスアワー オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。  連絡先  sak i kawa@m. ndsu. ac. jp	『○前 ラウダート・シ』教皇フランシスコ,カトリック中央協議会,2016
オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。 連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	その他、適宜授業内で紹介する。
オフィスアワーについては授業内で伝える。また随時メールでの質問、相談を受け付ける。 連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	
連絡先 sakikawa@m. ndsu. ac. jp	オフィスドリー 
sakikawa@m.ndsu.ac.jp	オフィスアリーについては授業内で伝える。また随時メールでの負荷、相談を受け付ける。
sakikawa@m.ndsu.ac.jp	
sakikawa@m.ndsu.ac.jp	
sakikawa@m.ndsu.ac.jp	
sakikawa@m.ndsu.ac.jp	ra dy th
	建裕元
留意事項	Sakirkawawiii, Husu, ac. jp
留意事項	
笛息争填	
	笛息争块 

無対数を表現 (日本 ) 1 (日本	社会福祉学特論Ⅰ	M7140	間鎌左在光地	単位数	2単位
開発的機構等 (主) 1通報 (日本年年 ) 1通報 (日本年 ) 1通報 (日本年 ) 1通報 (日本年 ) 1通報 (日本年 ) 1 通報 (日本		<u>M7140   科目ナンバリング      </u> 杉山 博昭	開講年度学期	2023年度第1期	
接着影響 (担)   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	担当者氏名				
接着影響 (担)   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	時間割備考				
接着影響 (担)   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日		1			
研究と呼び、大学院、「人間社会選  「大学院の位置 エクス・大学会の場合 「カーブ・ディスカッション 別でする子、プロマボリシー 「ファイスカッション 別は、大学のの地会事業実践、社会事業思想、影響の素たした役割などを考彰していく。  「アクティブラーニングの実施内容 「グルーブ・ディスカッション 別でする子、プロマボリシー (対象・法権) 「大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大	授業形態(副)				
本学堂の優別 不在学文化、 第末中リストの社会事業の歴史的報節を見ることで、日本の社会箱社の歴史的特質を把握する。 キリシタン時代から、税前の動向まで、カトリ プロテスタントの社会事業実践、社会事業を起き、参索の素にした収益などを考察していく。  アクティブラーニングの実施内容 グループ・ディスカッション  財政日母 (1対象: 技能/2 足巻・判断・表明カ/3 主/1  近代における、カトリック・プロテスタントの景たしてをた意義を投明できる。 短端 技能/2 足巻・判断・表明カ/3 主/2  は 近代社会の発展のなかでの社会事業の悪義を理解し現代的悪義を投明できる。 短端 技能/2 足巻・判断・表明カ/3 主/2  は 公会事業の歴史を請すえて、現代の社会福社を分析できる。 短点 半版・表明カ/2 主体性  は 会事業の歴史を請すえて、現代の社会福社を分析できる。 切描・技能/主体性  は 会事業の歴史を請すえて、現代の社会福社を分析できる。 切描・技能/主体性  は 会事業の歴史を持まえて、現代の社会福社を分析できる。 切描・技能/主体性  は 会事業の歴史を持まえて、現代の社会福社を分析できる。 3  4					
プロティブラーニングの実施内容 グループ・ディスカッション 対応するディブロマボリシー (1加度・技能/2 8条・制作・表現カ/3 ± 1 型代における、カトリック・プロテスタントの業たしてきた家庭を説明できる。 知識・技能/2 8条・制作・表現カ/3 ± 1 型代における、カトリック・プロテスタントの業たしてきた家庭を説明できる。 知識・技能/2 8条・制作・表現カ/3 ± 1 型代は金の発展のなかでの社会事業の最高を世報し現代的最高を説明できる。	本授業の概要	·	ᄗᆂᇝᄽᄼᇶᇄᇝᄧᇚᄡᄨᄧᅔᄳᄰᅷᄀ	ナルシカン・味化から 避益の	かわまる カレリック・
対応における、カトリック・プロテスタントの果たしてきた意義を説明できる。   対議・技能/2思考・判断・表現力/3主に   対応における、カトリック・プロテスタントの果たしてきた意義を説明できる。   対議・技能/2思考・判断・表現力/3主に   対議・技能/2思考・判断・表現力/3主に   対議・技能/2思考・判断・表現力/3主体性   対議・技能/2まず、判断・表現力/3主体性   対議・技能/2まず、判断・表現力/3主体性   対議・技能/2まず、対策・技能/2まず、対策・技能/2まず、対策・技能/2まず、対策・技能/2まず、対策・技能/2まず、対策・技能/2まず、対策・技能/2まず、対策・技能/2まず、対策・技能/2まず、対策・技能/2まず、対策・支持を持ちらい。   対応する到達目標の番号   1/2   対策・での素質や授業への取り組みで評価する 50%   1/2   対策・での素質・授業への取り組みで評価する 50%   3   3   4	プロテスタントのネ	t会事業実践、社会事業思想、教会の果たした役割 <sup>:</sup>		イソファンIng T Cがら、 <del>T</del> X BI V	/ 新川村 な C 、 ソJ T・ グ ブ ブ ・
近代における、カトリック・プロテスタントの果たしてきた恋義を説明できる。   知識・技能/2-28年・判断・表現力   知識・技能/2-28年・判断・表現力   知識・技能/2-28年・判断・表現力   2	アクティブラーニン	yグの実施内容 グループ・ディスカッション			
技術における、カトリック・プロテスタントの果たしてきた意義を説明できる。   知識・技能/思考・判断・表現力	到達目標				
2 社会事業の歴史を語まえて、現代の社会福祉を分析できる。		、カトリック・プロテスタントの果たしてきた意	<b>義を説明できる。</b>		
3	. —	<b>・展のなかでの社会事業の意義を理解し現代的意義</b> :	を説明できる。	思考・判断・表現カ/主体	性
2		<b>逐史を踏まえて、現代の社会福祉を分析できる。</b>		知識・技能/主体性	
	4				
1 期末レポートで評価する 50% 1/2 対論での発言や授業への取り組みで評価する 50% 3 3 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	5				
1 期末レポートで評価する 50% 1/2 対論での発言や授業への取り組みで評価する 50% 3 3 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	成績証価の其準			対応する列達日煙の釆品	
2 討論での発言や授業への取り組みで評価する 50% 3 3 4 5 5 東務経験のある教典による授業科目 東務経験の技業への活用方法  日本語以外の言語による授業 授業予定 類 1 キリスト教と会事業の思想 1 キリスト教社会事業の思想 4 近代初版のよりようと認語事業 修道会による諸活動について 5 プロテスクントと認語事業の限期 近代思想と認語事業の限期 1 日清職を後のぞイリスト教監語事業 9 日露帳を後の恋化教済事業とリスト教会等事業 9 日露帳を後の恋化教済事業として、大教会事業 1 大正デモクランーとキリスト教社会事業 1 大正デモクランーとキリスト教社会事業 1 大正デモクラン・とキリスト教社会事業 1 大正デモクラン・カー教会の表別を対象を対象の表別を対象を表別を対象の表別を対象を表別を対象を表別を対象を表別を対象を表別を対象を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	期末しポート	・で評価する 50%			
2		: <b>小</b> 位表。		12	
2	2 討論での発言	で授業への取り組みで評価する 50%		3	
日本語以外の言語による授業	3				
Table   Ta	4				
実務経験の	4				
日本語以外の言語による授業					
日本語以外の言語による授業 授業予定一覧 1 キリスト教社会事業史研究の意義 2 キリスト教と社会福祉の歴史的構造 3 キリシタンと慈善事業 4 近代初期のカトリック慈善 修道会による諸活動について 5 プロテスタント慈善事業 6 初期キリスト教慈善事業の思想 7 サリスト教慈善事業の思想 7 サリスト教慈善事業の思想 9 日露戦争後のボル政済事業とキリスト教 内務省の宗教統制の影響 10 植民地におけるキリスト教社会事業 11 大正デモクラシーとキリスト教社会事業 11 大正デモクランーとキリスト教社会事業 11 大正デモクランーとキリスト教社会事業 11 大正デモクランーとキリスト教社会事業の動向 教護法の影響・社会事業の動向 教護法の影響・社会事業の動向 教護法の影響・社会事業の動向 教護法の影響・社会事業の動向 教護法の影響・社会事業の動向 教護法の影響・大会事業の動向 教護法の影響・大会事業の動向 教護法の影響・大会事業の動向 教護法の影響・大会事業の動向 教護法の影響・大会事業の動向 対法・対象・大会事業の動力 14 戦時下のキリスト教社会事業 戦時下のキリスト教社会事業 戦時下の古姓と、その一方での戦争協力の問題 15 戦時下の古姓と、その一方での戦争協力の問題					
授業予定一覧		_ L 7 177 M4-			
<ul> <li>キリスト教と社会福祉の歴史的構造</li> <li>キリシタンと慈善事業の展開</li> <li>が自力のカトリック慈善修道会による諸活動について</li> <li>プロテスタント慈善事業の展開</li> <li>近代思想と慈善の思想</li> <li>キリスト教慈善事業の思想</li> <li>日清戦争後のキリスト教慈善事業</li> <li>日露戦争後の感化救済事業とキリスト教内務省の宗教統制の影響</li> <li>植民地におけるキリスト教社会事業</li> <li>台湾、朝鮮、満州でのキリスト教社会事業</li> <li>世界恐慌期のキリスト教社会事業の動向 教話のギリスト教社会事業の経営問題</li> <li>キリスト教の指書事業の経営問題</li> <li>キリスト教の指書事業の経営問題</li> <li>キリスト教の指書事業の経営問題</li> <li>キリスト教社会事業の経営問題</li> <li>キリスト教社会事業の経営問題</li> <li>特時下のキリスト教社会事業の一方での戦争協力の問題</li> <li>戦時下のキリスト教社会事業の思想・理論</li> <li>戦時下のキリスト教社会事業の思想・理論</li> </ul>	日本語以外の言語( 授業予定一覧	こよる授業			
	23456789101113141523456789101112131415	社会福建 社会福建 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語			

定期試験
レポートを提出する。
試験のフィードバックの方法
社会福祉学特論Ⅱで説明する。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
必読書の該当箇所を読み、内容を整理する。授業後は、議論の内容を振り返りまとめる。これにはそれぞれ2~3時間要する。
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
日本キリスト教社会福祉学会編『日本キリスト教社会福祉の歴史』2014.ミネルヴァ書房
オフィスアワー 火曜 2限
大・唯 ZNX
連絡先
sugiyama@post.ndsu.ac.jp
留意事項
事前に、次週の講義箇所を伝えるので、テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。講義は討論を中心に行う。

	社会福 授業コ	<u>祉学特論Ⅱ</u> 一ド	M7145   科目ナンバリング	開講年度学期	単位数   2023年度第2期	2単位
	担当者	氏名	杉山 博昭			
京教教授・	時間割	備考				
選手を 大学を受け、日本中リストを社会指揮の第三次大戦後の選生物展開を見ることで、日本の社会福祉の歴史的特質を把握する。カトリック・プロテスタントの社会経 大学家では、日本中リストを社会指揮の第三次大戦後の選生物展開を見ることで、日本の社会福祉の歴史的特質を把握する。カトリック・プロテスタントの社会経 社業後、社会相社を思想、数々と社会指揮の原産を認明することができる。	授業形	態(主)	1講義			
	担当形	態	単独			
接接	本授業	の概要				
別成である/フロマポリント   別成であるパブロマポリント   別域・技能/ 思想・知断・表現カ/3 主体性   知識・技能/ 思考・判断・表現カ/3 主体性   知識・技能/ 思考・判断・表現カ/3 主体性   知識・技能/ 思考・判断・表現カ   和識・技能/ 思考・判断・表現カ   2	祉実践	、社会福祉机	思想、教会と社会福祉の関係などを考察していく。		歴史的特負を把握する。 カトリ	ック・プロテスタントの社会福
1			フクの実施内容 グループ・ティスカッショ	ン	対応するディプロマ	
1 合教派の特徴を説明し、それぞれの社会福祉への貢献を議論することができる   知識・技能/主体性   対域・技能/主体性   対域・技能/主体性   対域・技能/主体性   対域・技能/主体性   対域・技能/主体性   対域・技能/思考・判断・表現力   対域・技能/思想を持ちらいます。				トルイン	(1知識・技能/2思	思考・判断・表現力/3主体性)
2 今後の社会福祉政策において歴史を踏まえた接言をすることができる。 知識・技能/思考・判断・表現力  5		<b>価</b> 価	もの中でのイリスト教社会福祉の息報を説明するこ	උ හැ	知識・技能/芯考・	刊断・衣現刀
3 日本語以外の言語による授業   対応する對達目標の番号   対応する對達目標の番号		各教派の特徴	<b>対を説明し、それぞれの社会福祉への貢献を議論す</b>	ることができる	知識・技能/主体性	
		今後の社会福	冨祉政策において歴史を踏まえた提言をすることが	できる。	知識・技能/思考・	判断・表現力
横野雄原   対応する到達目標の番号	4					
1	5					
□					対応する到達目標の	番号
3	_				I	
全	2	授業態度・記	対論への参加状況・発言内容で評価する 50%		2/3	
2	3					
要務経験の授業への活用方法  日本語以外の言語による授業 授業予定一覧  1 第二次大戦後のキリスト教社会事業  人権問題とキリスト教 被差別部落・ハンセン病、障害者などの人権課題への取り組み  3 高度成長期のキリスト教社会福祉 カトリック社会福祉助向  5 社会活動・医療活動の動き  6 福祉改革期のキリスト教社会福祉	4					
本語以外の言語による授業						
	<u>美務科</u> 実務経	験のある教見 験の授業への	頁による授業科目 D活用方法			
			_ L 7 ITI NL			
2 人権問題とキリスト教 被差別部落・ハンセン病、障害者などの人権課題への取り組み 3 高度成長期のキリスト教社会福祉 カトリック社会福祉の動向 5 社会活動・医療活動の動き 6 福祉改革期のキリスト教社会福祉 介護保険、NPO の広がりにどう対処したのか 7 阪神・淡路大震災とキリスト教 8 各教派の歩みと福祉実践(1) カトリックの教理と社会福祉の関係 9 各教派の歩みと福祉実践(2) 長老派の神学と社会福祉 組合派がなぜ多くの実践を生んだのか 10 各教派の歩みと福祉実践(3) 聖公会・メソジストの社会福祉の特徴 11 各教派の歩みと福祉実践(4) パプテスト・その他は社会福祉にどう貢献したか 12 キリスト教団体と社会福祉 諸団体の概要と業績 13 キリスト教社会福祉の養成教育 国家資格化のなかでのキリスト教の役割 14 キリスト教社会福祉の課題と展望	授業予	·定一覧				
	2 3456 78 9 10 11 12 13 14	権に使う会社・神教・教・教・サ・リ・リ・財問・成り活改・・派・派・派・派・ス・ス・ス・競被長ッ動革介淡のカの長の聖のバト諸ト国トと差期ク・期護路歩ト歩老歩公歩プ教団教家教・別の社医の保大みりみ派み会みテ団体社資社学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リスト教 が落・ハンセン病、障害者などの人権課題への取り が落・ハンセン病、障害者などの人権課題への取り が落・ハンセシ病、障害者などの人権課題への取り を活動の動き に以るに対したのか を受災とキリスト教のとなりにどう対処したのか を受災とキリスト教したのか を受災と来 に福祉の関係 に福祉とは会福祉の関係 に福祉とは会福祉の関係 に福祉とは会福祉の関係 に福祉とは会福祉の関係 に福祉とは、(3) においては、(4) には、その他は社会福祉にどう貢献したか に、日本教のでは、は、日本教の役割 には、日本教のでのおいました。 には、日本教の役割 には、日本教の役割 には、日本教の役割 には、日本教ののは、日本教ののは、日本教のでのおいました。 には、日本教ののは、日本教の役割 には、日本教ののは、日本教の役割 には、日本教の役割 には、日本教の役割 には、日本教の役割 には、日本教の役割 には、日本教ののは、日本教の役割 には、日本教の役割 には、日本教会、日本教会、日本教会、日本教会、日本教会、日本教会、日本教会、日本教会			

定期試験
レポートを提出する。
試験のフィードバックの方法
他の授業を活用する。または、個別に研究室に来訪してディスカッションすることを歓迎する。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
必読書の該当箇所を読み、内容を整理する。授業後は、議論の内容を振り返りまとめる。これにはそれぞれ2~3時間要する。
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
日本キリスト教社会福祉学会編『日本キリスト教社会福祉の歴史』2012、ミネルヴァ書房
オフィスアワー
火曜 2限
連絡先
建附元 sugiyama@post.ndsu.ac.jp
oug i yalilaspios t. Tiuou. ac jp
· 留意事項
国息事項 事前に、次週の講義箇所を伝えるので、テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。講義は討論を中心に行う。

地域福祉学特論I				単位数	2単位
地域福祉学特論! 授業コード	M7150 科目ナンバリン	グ	開講年度学期	2023年度第1期	
担当者氏名	井村 圭壯				
時間割備考	院生と協議の上で設定				
授業形態(主)	1講義				
授業形態(副)	1講義				
担当形態	単独				
研究分野(大学院)	人間社会論				
本授業の概要	·		_		
	1 木にもける垟みた社会問題の田殿	今日的た垣址理今の理解た	じた弥士ラ 社会短趾のち	1. 古わ地域短沙の推進七法	について老うます

アクテ	アクティブラーニングの実施内容 発見学習				
到達目		対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・表現力/3主体性)			
1	(1) 現代日本社会における様々な社会問題やそれらの背景に関して説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力			
2	(2) 今日的な福祉理念と社会福祉の考え方に関して説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力			
3	(3) 様々な地域福祉実践およびその推進方法に関して説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力			
4	(4) 地域自立生活を支える様々な制度に関して説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力			
5	(5) 社会福祉/地域福祉推進を支える様々な機関・施設・団体に関して説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性			
成績評	価の基準	対応する到達目標の番号			
1	受講態度・小テスト (10%)	1/2			
2	課題発表(25%)	1/2/3/4			
3	中間テスト (25%)	1/2/3			
4	期末試験(40%)	1/2/3/4/5			
5					
	験のある教員による授業科目 験の授業への活用方法				

日本語以外の言語による授業 授業予定一覧

- 一覧

  我が国の高齢化の状況/長寿化と少子化
  急速な人口減少/社会保障費の増大と世代間格差
  無縁社会を象徴する事件の増大/無縁社会とは何か
  家族の変容と自助力の低下/地域の変容と共助力の低下
  家族・地域機能の外部化・商品化/地域自立生活を送ることが大変に
  超少子高齢化・無縁社会化により生きづらさや不安が増大/認知症高齢者の増加と無縁社会~セルフネグレクト、行方不明~高齢者消費被害と無縁社会/虐待問題と無縁社会自殺問題と無縁社会/貧困問題と無縁社会
  自殺問題と無縁社会/貧困問題と無縁社会
  ニート・引きこもり・不登校・保健室登校と無縁社会/ホームレス・累犯障害者と無縁社会
  犯罪被害者と無縁社会/出所者の社会後帰支援
  滞日外国人と無縁社会/以市の社会後帰支援
  滞日外国人と無縁社会/限界集落と無縁社会
  ひとり親家庭と無縁社会/限界集落と無縁社会
  交通難民と無縁社会/児童養護施設退所児童の自立支援
  地域防災と地域福祉/災害支援とソーシャルワーク
  制度の外側に様々な不安や生活困難が/制度に跨る複合・多問題家族の増大

定期試験
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
『地域福祉の原理と方法(第3版)』2019年
ISBN 978-4-7620-2874-8 井村圭壯・相澤譲治編著、学文社
开刊主从"10/学成/10/幅看、于久任
<u></u>
オフィスアリー 質問は授業後に教室で受け付ける。
また、随時メールでの質問も受け付ける。
連絡先
qqs59pbd@utopia. ocn. ne. jp
留意事項
カイドスの図書に基づいて進めるので、年間スケジュールに沿って事前にテキストの該当か所を読んでプレゼン資料にまとめて持参していただき、その発表をもとに ディスカッションを行います。
ディスカッションを行います。

地域福祉学特論II				単位数	2単位
地域福祉学特論!! 授業コード	M7155 科目ナンバリン	<b>,</b> グ	開講年度学期	2023年度第2期	
担当者氏名	井村 圭壯				
時間割備考	院生と協議の上で設定				
授業形態(主)	1講義				
授業形態(副)	1講義				
担当形態	単独				
研究分野(大学院)	人間社会論				
本授業の概要			_	_	
	1 木にもける様々か社会問題の理解	今日的た垣址理会の理解た	じた弥士ラ 社合垣址のもし	はちめ地域短趾の推進方法	について去さます

アクラ	ーィブラーニングの実施内容 問題解決型学習	
到達目	1標	対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・表現力/3主体性)
1	(1) 現代日本社会における様々な社会問題やそれらの背景に関して教授できる。	知識・技能/思考・判断・表現力
2	(2) 今日的な福祉理念と社会福祉の考え方に関して教授できる。	知識・技能/思考・判断・表現力
3	(3) 様々な地域福祉実践およびその推進方法に関して教授できる。	知識・技能/思考・判断・表現力
4	(4) 地域自立生活を支える様々な制度に関して教授できる。	知識・技能/思考・判断・表現力
5	(5) 社会福祉/地域福祉推進を支える様々な機関・施設・団体に関して教授できる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性
成績評	平価の基準	対応する到達目標の番号
1	受講態度・小テスト(10%)	1/2/3
2	課題発表 (25%)	1/2/3/4
3	中間テスト (25%)	1/2/3
4	期末試験(40%)	1/2/3/4/5
5		
実務組	整験のある教員による授業科目	
夫務和	<b>経験の授業への活用方法</b>	

接来予定一覧
第 1 回 国による制度的福祉の限界と自助・共助/第 2 回 住民福祉活動の2形態/ボランティア住民福祉活動の2形態/ボランティア住民福祉活動の現状/地域を基盤としたの活動の現状/地域を基盤としたのが第 5 回 住民は何を担うのか/安心担保を何の普遍とかが町型地域福祉の必要性/地域下でである。 中地域では一次の普遍のがである。 10 回 大会福祉協議会とは/市町村社会福祉協議会の組織/福祉を入り、第 9 回 社会福祉協議会とは/市町村社会福祉協議会の組織/福祉を第 10 回 市町村社会福祉協議会の組織/福祉施設の第 11 回 民生委員・児童委員とは/民生児童委員が第 12 回 地域福祉推進を支える財源~補助金・助成第 13 回 サービス利用者の権利擁護の仕組み~成年第 14 回 サービス利用者の権利擁護の仕組み~第 15 回 2000 年以降の社会福祉理念/公私関係論

- 一覧
  国による制度的福祉の限界と自助・共助/社会資源の種類と特徴
  住民福祉活動の2形態/ボランティア活動、住民参加型在宅福祉サービス
  NPO活動の現状/地域を基盤とした住民福祉活動
  コミュニティ活動の代表例/「ふれあいサロン」と「見守り活動」
  住民は何を担うのか/安心担保を何処に置くか~求められる価値の転換~
  わが町型地域福祉の必要/ニーズの普遍化と地域アセスメント
  地域アセスメントの必要性/地域アセスメントの方法と圏域
  小地域福祉活動計画/地域福祉計画・地域福祉活動計画
  社会福祉協議会とは/市町村社会福祉協議会が直接の地域福祉機能
  民生委員・児童委員とは/民生児童委員活動と課題/民生児童委員協議会とは
  地域福祉推進を支える財源~補助金・助成金・共同募金~
  サービス利用者の権利擁護の仕組み~成年後見制度・日常生活自立支援事業~
  サービス利用者の権利擁護の仕組み~成年後見制度・日常生活自立支援事業~
  サービス利用者の権利擁護の仕組み~第三者評価事業・苦情解決システム~
  2000 年以降の社会福祉理念/公私関係論

試験のフィードバックの方法 準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間  必携書(徴料書販売)  必携書(数料書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。	- H1215A
李漢字習 (予習・復習) に必要な字像内容・時間  必携者 (教科書販売)  必携者 (教科書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。  オフィスアワー 質問は投棄版に概率で受け付ける。 また、経済メールでの質問も受け付ける。  連絡先 qqqq59pdqlutopia.ocn.ne.jp	定期試験
李漢字習 (予習・復習) に必要な字像内容・時間  必携者 (教科書販売)  必携者 (教科書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。  オフィスアワー 質問は投棄版に概率で受け付ける。 また、経済メールでの質問も受け付ける。  連絡先 qqqq59pdqlutopia.ocn.ne.jp	
李漢字習 (予習・復習) に必要な字像内容・時間  必携者 (教科書販売)  必携者 (教科書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。  オフィスアワー 質問は投棄版に概率で受け付ける。 また、経済メールでの質問も受け付ける。  連絡先 qqqq59pdqlutopia.ocn.ne.jp	
李漢字習 (予習・復習) に必要な字像内容・時間  必携者 (教科書販売)  必携者 (教科書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。  オフィスアワー 質問は投棄版に概率で受け付ける。 また、経済メールでの質問も受け付ける。  連絡先 qqqq59pdqlutopia.ocn.ne.jp	  計験のコノードがw.4の本注
必携書 (教科書版先以外)  必携書・参考書 (教科書版先以外)  講義時に、適宜、資料を配布する。  オフィスアワー 質問に接来後に密査で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。 連絡先 qqs59pbd似topia.oon.ne.jp	武級のフィートバックの方法
必携書 (教科書版先以外)  必携書・参考書 (教科書版先以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。  オフィスアワー 質問は実後に密査で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。 連絡先 qqs59pbd似topia.oon.ne.jp	
必携書 (教科書版先以外)  必携書・参考書 (教科書版先以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。  オフィスアワー 質問は実後に密査で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。 連絡先 qqs59pbd似topia.oon.ne.jp	
必携書 (教科書版先以外)  必携書・参考書 (教科書版先以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。  オフィスアワー 質問は実後に密査で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。 連絡先 qqs59pbd似topia.oon.ne.jp	準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。</li> <li>オフィスアワー 質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。</li> <li>連絡先 qqs59pbd@utopia.oon.ne.jp</li> </ul> 雷恋事項	
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。</li> <li>オフィスアワー 質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。</li> <li>連絡先 qqs59pbd@utopia.oon.ne.jp</li> </ul> 雷恋事項	
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。</li> <li>オフィスアワー 質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。</li> <li>連絡先 qqs59pbd@utopia.oon.ne.jp</li> </ul> 雷恋事項	
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。</li> <li>オフィスアワー 質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。</li> <li>連絡先 qqs59pbd@utopia.oon.ne.jp</li> </ul> 雷恋事項	
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。</li> <li>オフィスアワー 質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。</li> <li>連絡先 qqs59pbd@utopia.oon.ne.jp</li> </ul>	
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。</li> <li>オフィスアワー 質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。</li> <li>連絡先 qqs59pbd@utopia.oon.ne.jp</li> </ul> 雷恋事項	
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義時に、適宜、資料を配布する。</li> <li>オフィスアワー 質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。</li> <li>連絡先 qqs59pbd@utopia.oon.ne.jp</li> </ul>	
オフィスアワー 質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。 連絡先 qqs59pbd@utopia.ocn.ne.jp	必携書(教科書販売)
オフィスアワー 質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。 連絡先 qqs59pbd@utopia.ocn.ne.jp	
オフィスアワー 質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。 連絡先 qqs59pbd@utopia.ocn.ne.jp	必携書・参考書(教科書販売以外)
質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。 連絡先 qqs59pbd@utopia.ocn.ne.jp	講義時に、適宜、貧料を配布する。
質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。 連絡先 qqs59pbd@utopia.ocn.ne.jp	
質問は授業後に教室で受け付ける。 また、随時メールでの質問も受け付ける。 連絡先 qqs59pbd@utopia.ocn.ne.jp	オフィスアワー
連絡先 qqs59pbd@utopia. ocn. ne. jp 留意事項	質問は授業後に教室で受け付ける。
qqs59pbd@utopia. ocn. ne. jp 留意事項	また、随時メールでの質問も受け付ける。
qqs59pbd@utopia. ocn. ne. jp 留意事項	
qqs59pbd@utopia. ocn. ne. jp 留意事項	
qqs59pbd@utopia. ocn. ne. jp 留意事項	<b>本效</b>
留意事項	理船先 gge50phd@utopia_oon_pa_ip
留意事項 地域福祉学特論 I とセットでの履修を勧めます。	ddsoabbaeltobia. oon, ne. jb
留意事項 地域福祉学特論 I とセットでの履修を勧めます。	
地域福祉学特論 I とセットでの履修を勧めます。	留意事項
	地域福祉学特論Iとセットでの履修を勧めます。

人間社会論演習I			単位数	2単位
授業コード		開講年度学期	2023年度第1期	
担当者氏名	杉山 博昭			
時間割備考				
授業形態(主)	2演習			
授業形態(副) 担当形態	  単独			
研究分野(大学院)				
本授業の概要本授業では、社会	会福祉関係の文献を順次講読し、社会福祉の思想理論について	食討する。格差・貧困、介護労	労働、ジェンダー、福祉国家	マ、地域福祉など、個々の課
題と、社会福祉原語	<b>論とを結び付けて検討していく</b>			
アクティブラーニ	ングの実施内容 グループ・ディスカッション			
到達目標				・判断・表現力/3主体性)
到達目標2 到達目標3	こなし、社会福祉をめぐる課題について提言することができる。 政策や実践について、主体的に議論することができる。 社会福祉の理論について具体的に説明することができる。		知識・技能/思考・判断	・表現刀
政策や実践に	こついて、主体的に議論することができる。		知識・技能/主体性	
社会福祉の理	<b>里論について具体的に説明することができる。</b>		知識・技能/主体性	
4				
5				
成績評価の基準 発表態度・発	<b>発表内容</b> 50%		対応する到達目標の番号 1/2	
2 🗆 0 1 1 1 1 1 1	- トにおいて到達目標を評価する 50%		3	
2	・・		-	
3				
4				
5 字数级联のまる数				
実務経験のある教員 実務経験の授業への	<u>見による技</u> 術日			
日本語以外の言語(	こよる授業			
授業予定一覧				
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 戦戦戦社 社社 格 生 社社 社ソ ソ社 戦戦戦社 社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社社	質困 女性の貧困の現実 福祉 助向 朝日訴訟などの憲法訴訟 史認識―社会福祉の歴史的性格とは何か 具体質 社会事業の形成 戦時厚生事業 ナるソーシャルワークの役割 ーク論の変遷 こおけるソーシャルワークの展開過程から ークの国際動向 策・京極高宣の議論から ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			

	2020/ 0/
定期試験	
期末にレポートを課す	
試験のフィードバックの方法	
他の授業で触れる。またた随時、研究室を訪問して質問してもらいたい。	
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間	
関連文献を読み、内容を整理する。授業後はその関連文献との関係を確認する。これにはそれぞれ2~3時間を要する。	
业。 必携書(教科書販売)	
<b>2015日 (払行目 M.D.)</b>	
必携書・参考書(教科書販売以外)	
大友信勝・永岡正己編『社会福祉原論の課題と展望』, 2013年, 高菅出版	
その他社会福祉の新刊書等を適宜紹介する。	
オフィスアワー	
オフィスアワー 火曜2限	
連絡先	
sugiyama@post. ndsu. ac. jp	
7	
留意事項	
発表者だけでなく、受講者全員が該当文献を読みこなしたうえで主体的に参加すること。	

日本音氏名   お山 博昭	人間社会	会論演習Ⅱ		
理書名氏	授業コ-			2023年度第2期
	担当者日	氏名	IN MA INCH	
	時間割傷	————— 備考		
選挙的 (日本) 日本			0. 学习	
研究の音楽、大学院   人間社会議  本学の記念、技術を認定していません。 社会保証の意思理論に、いて検討する。社会保証実践の専門性、ジェンダー、地域包括ケアなど、個々の課題と、社会総址的論とを格び付けて検討していく  ガフティブラーニングの実践内容   通査学習   国産学習   国産学別   国産学別	授業形態	態(副)	<b>と</b> 摂自	
本発養の総合  - 本務書では、世帯部世類係の文章を護文論接し、社会を指わの思想を経済について投対する。社会指担実践の専門性、ジェンダー、地域を指か了など、都々の課題と、社会を経過論とを超り付けて検討していく  - 大田				
社会地性関係と各地が付けて検討していく アクティブラーニングの実施内容 関連全管 対応するディブロマポリシー (1.1知識・接触 / 2.2 考・判断・表現カ/3.2 体性) 知識・接触   対応するディブロマポリシー (1.1知識・接触 / 2.2 考・判断・表現カ/3.2 体性) 知識・接触   対応するでは「無数数の信格を解析し、実践のあり方を説明することができる。	本授業の	の概要		
到達目標	社会福祉	祉原論とを絹	が付けて検討していく	7性、シェンター、地域包括ゲアなど、個々の課題と、
お田田家政権などマクロな得点での社会福祉の機論をすることができる。	アクティ	ィブラーニン	グラグルグググ 関連 プログロ がっぱい かんりょう かんりょう かんりょう かんりょう かんりょう アンディ かんりょう かんしょう アンディ アンディング アンティング アンティング アンティング アンディング アンティング アンティング アンディング アンティング アンティング アンティング アンディング アンティング アンディング アンディング アンティング アング アンティング アング アンティング アング アンティング アンティング アンティング アンティング アング アンティング アンティング アンティング アング アンティング アング アンティング アンティング アンティング アンティング アンティング アンティング アンティング アンティング アング アング アンティング アンティング アンティング アンティング アンティング アンティング アンティング アンティング アング アンティング アング アンティング アンティング アング アンティング アンティング アンティング アンティング アンティング アンティング アング	
福祉国家政策などマクロな関係での社会権制の措施されることができる。 専門教育など権対象的性格を請求えて地域での関係法動を提案することができる。  専門教育など権収実施の性格を請求えて地域での福祉活動を提案することができる。  専門教育など権収実施の性格を指求えて地域での福祉活動を提案することができる。  3	到達目標	票		
別述目報3 わが国の地域の性格を選求えて地域での福祉活動を提案することができる。	卓	専門教育など		
2 わが図の地域の性格を踏まえて地域での福祉活動を提案することができる。 思考・判断・表現カノ主体性	1 至	到達目標3	わが国の地域の性格を踏まえて地域での福祉活動を提案することが	
		専門教育など	<sup>・</sup> 福祉実践の性格を理解し、実践のあり方を説明することができる。	思考・判断・表現力
5   対応する到達目標の番号		わが国の地域	の性格を踏まえて地域での福祉活動を提案することができる。	思考・判断・表現力/主体性
成議評価の基準 対応する到達目標の番号 1/2 2 回のレポートでの提案 3 3 4 4 5 5 実務経験のある教員による授業 1 2 2 回のレポートでの提案 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	4			
一				
2   2   2   2   2   2   2   3   3   3	2			
	1 2			3
	2			
東務経験の				
日本語以外の言語による授業   授業予定一覧	5			
日本語以外の言語による授業				•
技業予定一覧	美務詮問	鋏の授業への	D店用万法	
技業予定一覧				
1 社会福祉と社会保障			こよる授業	
2       福祉国家論の系譜と福祉国家政策         3       社会福祉実践の歴史的系譜			<b>:</b> 保障	
	1 2 3 4 戦 国 4 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	会址 会 前後 家 会 会策自会 ミ或或 子福国福福慈にの専資国福介福動由福民ュに包実高祖家祉祉善お社門格家祉護祉向主祉間二お括現齢とを国実かけ会教化資に労とと義経非テけケに化社め家践らる福育の格お働ジ社路営営ィるア向の社が家践らる福育の格が働ジ社の営いたるでは、	*つて 高の系譜と福祉国家政策 D歴史的系譜 社会福祉への変遷 理門戦性の到達点 社専門教育 自創始から国家資格制定前まで 養機と課題 +る介護労働 ・お介護労働 ・とのでる近年の議論と労働力不足への対応 ・二と福祉 はの社会福祉への影響 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

定期試験
期末にレポートを提出する。
試験のフィードバックの方法
人間社会論演習Ⅱで行う。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
関連の文献をあらかじめ読んでおくこと。授業後は関連文献と授業内容の関係を確認する。これにはそれぞれ2~3時間要する。
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
大友信勝・永岡正己編『社会福祉原論の課題と展望』,2013年,高菅出版
その他社会福祉の新刊書等を適宜紹介する。
+¬,,¬¬¬¬
オフィスアワー オフィスアワー 火曜2限
連絡先
sugiyama@post.ndsu.ac.jp
留意事項
発表者だけでなく、受講者全員が該当文献を読みこなしたうえで主体的に参加すること。

授業コード M ル 担当者氏名	M7210	2023年度第 1 期
担ヨ有氏石		
時間割備考		
授業形態 (主)	1講義	
授業形態(副) 担当形態 」	単独	
研究分野(大学院) 本授業の概要		
日本の民俗宗教の基成果を検討してゆく	本構造と歴史について講ずる。まず前提として民俗学の基本的な立脚点,および〈民俗〉。	概念について考察し,ついで、民俗宗教の各領域の研究
アクティブラーニン	グの実施内容調査学習	
到達目標		対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・表現力/3主体性)
日本民俗学の 1	立脚点を理解し、説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力
民俗宗教に関	する基本的な知識に立って日本の民俗文化および宗教文化を理解し,説明できる。	知識・技能/思考・判断・表現力/主体性
民俗学および 3	関連分野の論文が読解できる。	知識・技能/思考・判断・表現力
4		
5		
成績評価の基準		対応する到達目標の番号
1 期末に課すレ	ポートによって,上記の到達目標の達成度を評価する。	1/2/3
2 授業中に課し	た口頭発表を評価に加味する。	1/2/3
3		
4		
5	L 7 15 W 3   D	
実務経験のある教員 実務経験の授業への	活用方法	
日本語以外の言語に 授業予定一覧	よる授業	
1. 民俗学的認識の 2. 柳田國男の仕事	(化〉, 〈民俗〉と〈生活〉 ムをめぐる議論 の祭祀 観	

定期試験
期末にレポートを課す。
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
授業のサブテーマごとに関係論文の講読が必要。週ごとに平均1~2時間程度。
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
〈参考文献〉授業中に提示する。その他、必要な資料は配付する。
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける。
授業終了後に教室で質問を受け付ける。
連絡先
s4012@m. ndsu. ac. jp
O TO T Zenii. Hadda. do. jp
留意事項

日本民俗学特論II 授業コード	M7215    科目ナンバリング	開講年度学期	単位数 2023年度第2期	2単位			
担当者氏名	小嶋 博巳						
時間割備考							
授業形態(主) 授業形態(副) 担当形態	1講義						
担当形態研究分野(大学院)	単独						
本授業の概要 遍歴という行動様ま る。	研究分野(大学院) 【生活文化論 本授業の概要 遍歴という行動様式と遍歴者の存在に注目し、日本の社会におけるその諸相を探る。とくに定住と遍歴の接点にある〈巡礼〉のさまざまなあり様をめぐり、考察する。						
アクティブラーニン	グの実施内容 調査学習						
到達目標				判断・表現力/3主体性)			
日本の社会に	おける種々の遍歴の実態が説明できる。		知識・技能/思考・判断	・表現力			
民俗宗教が通	歴と定住の交渉を重要な契機の一つとして成り立	こっていることを理解し、説明できる。	知識・技能/思考・判断	・表現力			
3							
4							
5							
成績評価の基準 期末に課すし	・ポートによって,上記の到達目標の達成度を評価	 近する。	対応する到達目標の番号 1/2				
1 営業中に課し	た口頭発表を評価に加味する。		1/2				
2	7C-38,703C-21   IM-1-78-78 7 0 0						
3							
5							
実務経験のある教員 実務経験の授業への	による授業科目						
日本語以外の言語に							
授業予定一覧							
1. 2.3 3 4 . 1 2.3 3 4 . 1 2.3 3 4 . 1 2.3 3 4 . 1 2.3 3 . 1 2.3 3 4 . 1 3 4 . 1 3 4 . 1 3 5 . 1 3 4 . 1 3 5	ママチュアの巡礼 とめぐりの習俗 (礼 (礼 (礼 )   						

定期試験
期末にレポートを課す。
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
授業のサブテーマごとに関係論文の講読が必要。週ごとに平均1~2時間程度。
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
〈参考文献〉授業中に提示する。その他、必要な資料は配付する。
オフィスアワー 授業終了後に教室で質問を受け付ける。
授業終了後に教室で質問を受け付ける。
連絡先
s4012@m. ndsu. ac. jp
O TO T Zenii. Hadda. do. jp
留意事項

比較文化特論! 授業コード	M7220	j	開講年度学期	単位数 2023年度第1期	2単位
担当者氏名	紺谷 亮一	•			
——————— 時間割備考					
授業形態(主)	1 講義				
授業形態(副)担当形態	単独				
研究分野 (大学院) 本授業の概要	生活文化論				
西アジアの人文: ら、今日の西アジ	也理、自然地理、言語を取り上げ、各ア世界の実態にせまる。	地域の特徴を概観しなが			
到達目標	シ の			対応するディプロマポリシー	
	D自然、文化を通して、現代西アジア	世界の諸問題の要因について訪	<u> </u>	(1知識・技能/2思考・判断	所・表現力/3主体性)
1 明できる。					
2					
3					
4					
5 成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1 口頭発表	50%、課題レポート 50%			1	
2					
3					
4					
5					
実務経験のある教実務経験の授業へ	員による授業科目 の活用方法			•	
日本語以外の言語 授業予定一覧					
第 6 回: 西西アアジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジジ	アの地形 アの気候 アの民族構成 アの人文自然地理に関する論文講読 アの先史狩猟採集民 アの強牧民 アの農耕民 アの民族学に関する論文講読 アの食を文化 アの住居文化 アの言語文化				

定期試験	
試験のフィードバックの方法	
講義中に指示する。	
**	
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間	
必携書(教科書販売)	
必携書・参考書(教科書販売以外)	
講義中に指示する。	
オフィスアワー	
講義中に指示する。	
連絡先	
kontani@post.ndsu.ac.jp	
Indiredit gpoot. India. ad. jp	
留意事項	
一部、演習形式も取り入れる。	

比較文化特論II 授業コード	M7225  科目ナンバリング	開講年度学期	単位数   2023年度第2期	2単位
担当者氏名	M/225	加册十尺于郑	4040十段易4別	
時間割備考				
授業形態(主) 授業形態(副)	1講義			
授業形態(副) 担当形態 研究分野(大学院)	単独    【生活文化論			
本授業の概要				
西アンアの近現1 今日の西アジア世界	t史を取り上げ、特に取ることシリアの事例を概観しながら、 Pの実態にせまる。			
アクティブラーニン	y グの実施内容			
到達目標	•		対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	· 表現力/3 主体性)
トルコ、シ	<ul><li>リアの近現代史を通して、現代西アジア世界の諸問題の要因につい</li></ul>		(1人) 1人的	· 我就为/ 0 工体任/
1 て説明できる	0.			
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準	50%、課題レポート 50%		対応する到達目標の番号	
1 口頭光数	5070			
2				
3				
4				
5 実務経験のある教員	<b>着による授業利日</b>			
実務経験の授業への	万括用方法			
日本語以外の言語に 授業予定一覧	こよる授業			
第 1 回:講義概要	5			
第 3 回:ケマル・	ノ・トルコ帝国の崩壊 アタテュルクによるトルコ革命			
第 4 回:トルコチ 第 5 回:トルコの	t和国の成立 D現状			
第 6 回:イスタン 第 7 回:トルコ語	ノブルの歴史的景観 雪①文法			
第 8 回:トルコ語第 9 回:トルコ語	5②新聞見出し			
第 10 回: 「アラフ	ブの春」とは何か			
第 11 回:シリア内 第 12 回:アレッカ	₹の歴史的景観			
第 13 回:日本・ト 第 14 回:現代西フ	トルコ交渉史 マジアに関する論文講読			
第 15 回:まとめ				

近畿のフィードバックの方法 - 議権中に特示する。 - 本書 (会社書版売以外) - 必読書・参与書(会社書版売以外) - 通義中に特示する。 - 本子 (スプワー - 清義中に特示する。 - 連絡売 - KOTIANI NORTH TRATE である。 - 本子 (本社 Jac		
受護者・参考者 (教科書販売以外)  正成本・参考者 (教科書販売以外)  正成本・参考者 (教科書販売以外)  「講義中に指示する。  オフィスアワー  「講義中に指示する。  正成本  「関連中に指示する。  正成本  「関連中に指示する。  正成本  「成本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定期試験	]
議議中に指示する。  ・		
議議中に指示する。	試験のフィードバックの方法	
	講義中に指示する。	
必携書・参考書(教科書版先以外)     講義中に指示する。     連絡先     Kontani Boost: ndsu. ac. jp     留意事項		
必携書・参考書(教科書版先以外)     講義中に指示する。     連絡先     Kontani Boost: ndsu. ac. jp     留意事項		
必携書・参考書(教科書版先以外)     講義中に指示する。     連絡先     Kontani Boost: ndsu. ac. jp     留意事項	**	_
必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。 オフィスアワー 講義中に指示する。 連絡先 Kontani ®post. ndsu. ac. jp	华偏子省(才省・復省)に必要な子修内谷・時间	
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>		
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>		
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>		
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>		
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>		
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>		
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>		
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>		
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>		
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>		
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>		
必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。 オフィスアワー 講義中に指示する。 連絡先 Kontani ®post. ndsu. ac. jp		
<ul> <li>必携書・参考書(教科書販売以外) 講義中に指示する。</li> <li>オフィスアワー 講義中に指示する。</li> <li>連絡先 Rontani épost. ndsu. ac. jp</li> <li>留意事項</li> </ul>	N## /#J#F=	$\dashv$
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項	必捞青( <b>教</b> 件青规元)	
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項	) ##	$\dashv$
オフィスアワー  講義中に指示する。  連絡先  kontani@post. ndsu. ac. jp	<b>必括言・</b> 参与書(教件書规定以介)	_
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項	講義中に指示する。	
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項		
講義中に指示する。  連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp  留意事項	ナフィスアワー	$\neg$
連絡先 kontani@post. ndsu. ac. jp 留意事項	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	$\dashv$
kontani@post. ndsu. ac. jp 留意事項	8時我 中に1日小り 必。	
kontani@post. ndsu. ac. jp 留意事項		
kontani@post. ndsu. ac. jp 留意事項	<b>海</b> & 失	$\dashv$
留意事項	Kentani@poet ndeu ee in	$\dashv$
留意事項 一部、演習形式も取り入れる。	rollicatifieros c. fidou. do. jp	
留意事項 一部、演習形式も取り入れる。		
留意事項 一部、演習形式も取り入れる。		
一部、演習形式も取り入れる。	留意事項	
	一部、演習形式も取り入れる。	$\neg$
		_

家族・	社会構造特論	;I M7230    科目ナンバリング	<b>学</b> 田	単位数 2023年度第1期	2単位
		M7230	于别	2023年度第1期	
担当者	氏名				
時間害	備考				
授業形		1講義			
授業形 担当形	ジ (副) ジ 能	<u>2 演</u> 習 単独			
研究分	}野(大学院)	社会学			
	美の概要 L会学が取り組	んできた領域やテーマを広くとりあげ、家族社会学の理論を説明する			
家族社	t会学の分析視	角について解説するとともに、今日的課題について考察する をいくつか取り上げ輪読形式で報告、討論を行い、理解を深める			
W11 C		でいく フが取り上げ 無説が丸 て取占、計論を打い、理解を承める			
マカニ	- , ヺ゠゠゠ヽ	- グの実施内容			
		グループ・ティスカッション		<u>対応するディプロマポリ</u>	<b>リシー</b>
到達目				(1知識・技能/2思考	・判断・表現力/3主体性)
1	家族研究の分 I	析視角を理解し、使えるようになる		知識・技能/思考・判断	〒・表現力
	<b></b>		,	Faith Jilly	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +
2	家族に関する	古典的文献を読むことにより、家族研究の潮流を理解し、説明することができる	5	知識・技能/思考・判断	T・表現力
	A B 44 4 5 5 5 5 5	. OPP 1140 7. ± 00 > 1/151 = 7. O ± 0. ± 0. 5 = 1. 12 = ± 0.			- /
3	今日的な課題	への取り組みを明らかにしてその成果を問うことができる		思考・判断・表現カ/主	E 1本 1生
4					
5					
武结	平価の基準			対応する到達目標の番号	1
<u> </u>		論への取り組み 30%		1/2/3	)
	中間報告 20	04		1/2/3	
2					
3	課題・レポー	F 25%		1/2/3	
4	最終報告 25	%		1/2/3	
5					
<u>実務総</u> 実務総	≧験のある教員 ≧験の授業への	による授業科目 活用方法			
2001					
<b>□ +</b> =3		L 7 4			
授業予	B以外の言語に B定一覧				
		・ オリエンテーション 学の分析視角			
第 3	回 輪読①ラ	ドクリフ・ブラウン『未開社会における構造と機能』			
第 4 第 5	回 歴史社会 回 人口学的	学的アプローチ アプローチ			
第 6	回 ジェンダ	`一研究的アプローチ ソドロジー的アプローチ			
第 8	回 輪読②	マリノウスキー『性・家族・社会』			
第 9 第 10	回 構造機能 回 家族スト	論的アプローチ レス論的アプローチ			
第 11	回 相互作用	論的アプローチ			
第 13	回 交換論的回 輪読③	マードック『社会構造』			
		ース論的アプローチ ーク論的アプローチ			
۸, ۱۰		, mural, , ,			

202	23/3/
定期試験	
口述試験を行う	
  試験のフィードバックの方法	
複数回の課題レポートについて、コメントを付して返却する	
口述試験について、必要な助言を与える	
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間	
講義内容に関わる資料や文献をその都度紹介する。次回の講義時までに必ず目を通し、理解を深めてもらいたい(各回4時間程度) 講義修了後は、授業内容や討論から得た知見を参考に、家族研究を進めていくうえで必要な作業に積極的に取り組んでもらいたい(各回4時間程度)	
時我修了後は、1文末的音で的論がり時に加光と多句に、外族研究と述めていてプルで必要な作業に関連的に扱う値がでもういだい。(自由共同程度)	
必携書(教科書販売)	
必携書・参考書(教科書販売以外)	
参考図書:野々山久也・清水浩昭編 2001、『家族社会学の分析視角』、ミネルヴァ書房.	
ト オフィスアワー	
授業中に指示する	
随時、メールで質問を受け付ける	
直 連絡先	
miki@m.ndsu.ac.jp	
留意事項	

家族・社会	会構造特論I ド M7		単位数	2単位	
	Ш	235	2023年度第2期		
担当者氏名	ž				
時間割備者	考				
授業形態	(主) 1	講義			
授業形態担当形態	(副) 2	演習			
研究分野	(大学院)	<u>独</u> 【社会学			
本授業の概念を		+ 全学の研究成果を解説したうえで、現代の家族についての理解を深める			
とくに日本の家族を対象に、家族社会学の幅の広さについて具体的事例を取り上げながら説明する					
家族にかた	かわる基本的	り文献および今日的課題に関する文献を随時紹介し、家族社会学の研究の可能性に言及する			
アクティフ	ブラーニンク	ずの実施内容 グループ・ディスカッション			
到達目標			対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断	・表現力/3主休性)	
家旅	<b>族社会学研究</b>	の基本を理解する	知識・技能/思考・判断・表現		
1					
現代	<b>弋の家族現</b> 象	を社会環境との関連において説明できるようになる	知識・技能/思考・判断・表現	現力/主体性	
2					
家族	医研究に関す	- るさらなる理論的展開の可能性を論じることができるようになる	知識・技能/思考・判断・表現	現力/主体性	
3					
			+		
4					
5					
成績評価の	の基準		対応する到達目標の番号		
1 授第	業および討論	への取り組み 30%	1/2/3		
課是	頃・レポート	- 30%	1/2/3		
2					
3 最終	冬レポート	40%	1/2/3		
4					
5					
実務経験の 実務経験の	<u>のある教員に</u> の授業への活	こよる授業科目 5月方法			
7777121371	7,241,4				
日本語以外 授業予定-	<u>外の言語によ</u> 一覧	こる授業			
· -	546 44 low 35	家族社会学研究の基本			
第2回第3回	日本の家族	家族社会字研究の基本 実変動 かる家族主義の限界 第 2 回〜第 4 回をふまえて 再家族化」 - 教育機会 高 6 回〜第 8 回をふまえて - 「愛情」の間 アル・マイノリティの家族			
第 4 回	子育てにみ	る家族主義の限界			
第5回第6回	討論① 第	男 2 回〜第 4 回をふまえて 写家族化」			
第7回	家族階層と	教育機会			
第 9 回	生活の共同 計論② 第	列性と家族主義 第 6 回~第 8 回をふまえて			
第 10 回第 11 回	「お金」と	こ「愛情」の間			
第 12 回	成人子と親	見との関係			
第 13 回第 14 回	討論③ 第 家族と政治	第 10 回~第 12 回をふまえて 3.注律			
	討論④・す				

·	2020/ 0/
定期試験	
口述試験	
3450 m	
試験のフィードバックの方法 複数回の課題レポートについて、コメントを付して返却する	
複数回の課題レバートについて、コメントを行じて返却する  口述試験について、必要な助言を与える	
口型試験にプログ、必要な明白で与える	
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間	
講義内容に関わる資料や文献をその都度紹介する。次回の講義時までに必ず目を通し、理解を深めてもらいたい(各回4時間程度)	
講義修了後は、授業内容や討論から得た知見を参考に、家族研究を進めていくうえで必要な作業に積極的に取り組んでもらいたい(各回4時間程度)	
必携書(教科書販売)	
必携書・参考書(教科書販売以外) 参考図書:永田夏来・松木洋人編 2017、『入門家族社会学』新泉社.	
参考図書:水田夏木・松木洋入橅 2017、   入門家族社芸子   柳永社.	
オフィスアワー	
授業中に指示する	
随時、メールで質問を受け付ける	
連絡先	
miki@m.ndsu.ac.jp	
留意事項	

食生活文化論特論		1問誰左在尚知 1	単位数	2単位
授業コード担当者氏名	M7240     料目ナンバリング       清水 純一	開講年度学期	2023年度第1期	
担当有风石				
時間割備考				
授業形態(主) 授業形態(副)	1 講義 2 演習			
担当形態 研究分野 (大学院	単独			
本授業の概要	【土沼へ心闘 産から消費に至るまでを総合的に分析する「フードシステム論」の枠組	17. 大级这些,级党带,为	-	て説明士で
<b>学技术では及び工</b>	生から月貝に主心よくで応占的に力がする「ノードンへ」 公舗」 の行和	107で柱冴子・社呂子・13	L女子・良文 Limiで 彫 区 し	כ הייז אי יטי פי
アクティブラーニ	ングの実施内容 グループ・ディスカッション			
到達目標			対応するディプロマポリシ (1知識・技能/2思考・	
フードシス <sup>・</sup> 1	テム論の枠組みを活用して食生活の変化を分析できる。		思考・判断・表現力/主体	性
学際的アプ	コーチを可能にする、思考能力、方法論を獲得する。			
3				
4				
5				
成績評価の基準 1 <sup>授業の理解)</sup>	度と応用能力を発表(50%)および期末レポート(50%)によって評価す	る。	対応する到達目標の番号 1/2	
2				
3				
4				
5 実務経験のある教	<b>員による授業科</b> 目			
実務経験の授業へ	の活用方法			
日本語以外の言語 授業予定一覧	こよる授業			
第 1 回:日本の 第 2 回:食生活	フードシステム の現状			
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	の変化の要因 造業 通1(卸売) 通2(小売) 業 業 業 機 機 大と自給率 人口と食料問題 食料貿易 めぐる貿易問題			

定期試験
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
(予習)各回の該当する章を事前に読み、要点をまとめたシートを作成する。(120分)
(復習)各章末に演習課題を解き、manaba folio のフォームに記入して提出する。(120分)
사용 (사원 카드 눅)
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
〈必携書〉
『フードシステム入門:基礎からの食料経済学』2019年、ISBN 978-4-4679-0636-2、薬師寺哲郎・中川 隆、建帛社
オフィスアワー
オフィスアワー 毎週火曜日 4 時限(14∶45−16∶15)。
連絡先
<b>性相儿</b>
sr shimizu@m ndsu ac in
sr.shimizu@m.ndsu.ac.jp
sr.shimizu@m.ndsu.ac.jp
sr.shimizu@m.ndsu.ac.jp
sr.shimizu@m.ndsu.ac.jp 留意事項
sr.shimizu@m.ndsu.ac.jp

食生活文化論特論 授業コード	I  M7245    科目ナンバリング	開講年度学期 2023年		2単位
担当者氏名	M7245    科目ナンバリング      清水 純一	用調平及子期  2023年	度第2期	
時間割備考				
授業形態(主) 授業形態(副)	1 講義 2 演習			
担当形態 研究分野(大学院)	<u>単独</u> ■ 生活文化論			
本授業の概要 本授業では、主と	して日本の高度経済成長以後を対象にし、社会・経済構造の変化による:	食料消費の変化が、食生活に与ります。	ラスた影響を食料経済学の ラスた影響を食料経済学の	立場から分析する。
アクティブラーニ	ングの実施内容 グループ・ディスカッション			
到達目標		(1知	「るディプロマポリシー Ⅰ識・技能 ∕ 2 思考・判断・	表現力/3主体性)
経済学の立 <sup>5</sup> 1	易から食生活・食文化を分析するための、基本的な経済学のツールを修行	<b>事する。</b>		
到達目標 1 <sup>-</sup> 2	で蓄積した知識とツールを利用し、現状の食生活を分析する能力を獲得る	する。 主体性	:	
3				
4				
5				
成績評価の基準 授業の理解原	度と応用能力を発表(50%).	対応す 1/2	る到達目標の番号	
期末しポー		1/2		
2		1/ 2		
3				
4				
5				
実務経験のある教 実務経験の授業への	員による授業科目 の活用方法			
日本語以外の言語( 授業予定一覧				
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	:展と農業 需要と供給 .産と土地 経営組織  の市場組織  貿易と農業保護政策  の成熟とフードシステム 近代化  環境と農業  農業と食料			

準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 (予習)各回の該当する章を事前に読み、要点をまとめたシートを作成する。(120分)
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 (予習)各回の該当する章を事前に読み、要点をまとめたシートを作成する。(120分)
(予習)各回の該当する章を事前に読み、要点をまとめたシートを作成する。(120分)
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 (予習)各回の該当する章を事前に読み、要点をまとめたシートを作成する。(120分)
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 (予習)各回の該当する章を事前に読み、要点をまとめたシートを作成する。(120分)
(予習)各回の該当する章を事前に読み、要点をまとめたシートを作成する。(120分)
(予習)各回の該当する章を事前に読み、要点をまとめたシートを作成する。(120分)
(予習)各回の該当する章を事前に読み、要点をまとめたシートを作成する。(120分)
(予習)各回の該当する章を事前に読み、要点をまとめたシートを作成する。(120分)
(復習)各章末に演習課題を解き、manaba folio のフォームに記入して提出する。(120分)
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
〈必携書〉
『農業経済学 [第5版] 2020年、ISBN 978-4-00-028922-1、荏開津典生・鈴木宣弘、岩波書店
オフィスアワー
オフィスアワー 毎週火曜日 4 時限(14∶45−16∶15)
オフィスアワー 毎週火曜日 4 時限(14∶45−16∶15)
オフィスアワー 毎週火曜日 4 時限(14∶45−16∶15)
オフィスアワー 毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15)
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15)
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15) 連絡先
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15)
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15) 連絡先
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15) 連絡先 sr. shimizu@m. ndsu. ac. jp
連絡先         sr. shimi zu@m. ndsu. ac. jp             留意事項
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15) 連絡先 sr. shimizu@m. ndsu. ac. jp
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15)  連絡先 sr. shimizu@m. ndsu. ac. jp  留意事項
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15)  連絡先 sr. shimizu@m. ndsu. ac. jp  留意事項
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15)  連絡先 sr. shimizu@m. ndsu. ac. jp  留意事項
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15)  連絡先 sr. shimizu@m. ndsu. ac. jp  留意事項
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15)  連絡先 sr. shimizu@m. ndsu. ac. jp  留意事項
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15)  連絡先 sr. shimizu@m. ndsu. ac. jp  留意事項
毎週火曜日 4 時限(14:45-16:15)  連絡先 sr. shimizu@m. ndsu. ac. jp  留意事項
連絡先         sr. shimi zu@m. ndsu. ac. jp             留意事項

授業コード M7250 清水 担当者氏名 時間割備考		2023年度第 1 期
時間割備考		
授業形態(主) 2演	מו	
授業形態(副)		
研究分野(大学院) 生	活文化論	
本授業の概要 本授業では、人間生活の 分析する力を養う。	基盤をなす、生活文化に関する演習を行う。人文科学、社会科学の両面から生活文化を勧	視察し、今後の我々の生活文化を占うために、調査・
アクティブラーニングの	実施内容 グループ・ディスカッション	
到達目標		対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・表現力/3主体性)
統計学を駆使して 1	、当該分野のデータを分析できるツールを身につける。	
当該分野の基礎的 2	な文献を読み解き、批評する能力を修得する。	
オリジナルな論考 3	を論理的に展開できる研究能力を獲得する。	
4		
5		
成績評価の基準		対応する到達目標の番号
1	およびディスカッションへの参加姿勢(50%)。	3
2 期末レポート(509	%) .	1/2
3		
4		
5		
実務経験のある教員によ 実務経験の授業への活用		
日本語以外の言語による 授業予定一覧	授業	
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	所 種団の推測 可か 食定 税検定 可か の逸脱	

定期試験
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
(予習)各回の該当する章を事前に読み、分析例を自分で再現してみる。(120分)
(復習)毎回終了後に出題される演習課題を解き、manaba folio のフォームに記入して提出する。(120分)
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
が
『文系のためのデータ分析入門』、2017年、ISBN 978-4-502-24411-7、長島直樹・石田 実・李 振、中央経済社
オフィスアワー
毎週火曜日 4 時限(14: 45-16: 15)
12 Ab 4.
連絡先 sr. shimizu@m. ndsu. ac. jp
St. Striiitzueiii. iiusu. ac. jp
留意事項
本授業を履修する学生には、統計学を使用するため、ある程度の数学の基礎能力が求められる。事前に高校までの数学を復習しておくこと。予習と復習に時間をかけ
ること。特に復習が大事である。

<u>生活文</u> 授業コ	化論演習Ⅱ	M7255    科目ナンバリング	単位数 期   2023年度第2期	2単位
<del>技录 1</del> 担当者			助 [2023年度第2期	
12 3 13	<u> </u>			
時間割	備考			
授業形 授業形	態(主) 能(副)	2演習		
担当形	態(副)態	単独		
本授業	野 (大学院 の概要			
<b>平</b> 技未	では、主角	文化に関する研究論文を執筆するための基礎となる論文作法に関する演習を行う。こ	- れいこより、19 上冊又に次の15イレる「空	E] を対に J() の。
アクテ	ィブラーニ	ングの実施内容     グループ・ディスカッション		
到達目	標		対応するディプロマポリシ (1知識・技能/2思考・	
	当該分野の	基礎的な文献を読み解き、批評する能力を修得する。	知識・技能/思考・判断・	表現力
1				
2	オリジナル	な論考を論理的に展開できる研究能力を獲得する。	思考・判断・表現力/主体	性
3				
4				
5				
成績評	価の基準 授業中の発	表内容(50%)。	対応する到達目標の番号	
'			_	
2	ディスカッ	ションへの参加姿勢 (50%) 。	1/2	
3				
4				
5				
	験のある教	員による授業科目		
実務経	験の授業へ	の活用方法		
	以外の言語 定一覧	による授業		
第第第第第第第第第第第第第第第名。23456789101112131111111111111111111111111111111	: 方法 : 方研成 : 研構の : パ記正とう : 注を : 校士 : 修士 : 修士	論文 対象 この調べ方 (調査設計) Rと学問体系(ディシプリン) ・ ソッド)) 可書とプレゼンテーション て書 フライティング演習		

定期試験
試験のフィードバックの方法
*
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間  ((予習) 毎回、発見に発表す割り来するので、発表中容のしご。メキルはオネー(120八)
(予習)毎回、各自に発表を割り当てるので、発表内容のレジュメを作成する。(120分) (復習)演習中に指摘された事項に基づいて修正したレジュメをmanaba folio に投稿する。(60分)
<b>ン 性 キ / 北 幻 キ 叮 士 \</b>
必携書(教科書販売)
心惟主,关书主(析利主服主以前)
必携書·参考書(教科書販売以外) (必携書)
、必病音/ 『基礎からわかる 論文の書き方』、2022年、ISBN 978-4-06-528086-7、小熊英二、講談社
The state of the s
オフィスアワー 火曜日4時限(14∶45−16∶15)
火曜日4時限(14:45-16:15)
<b>本效</b>
連絡先 sr.shimizu@m.ndsu.ac.jp
or . orruit zugiii. naoa. ao. jp
留意事項
Per Car. A.V.

生活経営学特論! 授業コード	M7310  科目ナンバリング	<b>引講年度学期</b>	単位数 2023年度第 1 期	2単位
担当者氏名	豊田 尚吾	7時十尺子初	2023年及第1朔	
担当有氏名				
時間割備考				
授業形態(主)	1講義			
授業形態(副) 担当形態	単独			
研究分野(大学院)	単 <u>徴</u>			
本授業の概要	-イング(よい生活)を実現するためのライフマネジメントとはいかなる	ものかを学ぶ。その	際の企業など組織の経営	営理論 実践を参考にするとと
もに、生活を設計	<sup>-</sup> る前提となる、個人の価値観にも焦点をあてる。	0078-24-3.8 (0)	が、正本なこが成めた。	日在論、人成と多句にすること
それにより、生活: 	経営を人間生活とリンクさせ、深みのある考察、研究を行う視点を養う。			
アクティブラーニ	y グの実施内容			
到達目標			対応するディプロマホ(1知識・技能/2思	《リシー 考・判断・表現力/3主体性)
上記学習を達	1じて、生活経営に関する現実と理論を習得するとともに、課題の発見、	仮説の立案、説得的		
1  な検証を実施	きする能力を養う。			
	:応じて、資料やデータを取集し、それをまとめて効果的な発表をするこ	とができる。	思考・判断・表現力/	′主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番	号
1 授業中の発表	(内容・姿勢(75%)		1/2/3	
2 期末レポー	· (25%)		1/2	
3				
4				
5				
実務経験のある教	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
実務経験の授業へ	)活用方法			
長年、企業人とし <sup>*</sup>  導を心掛ける。	<ul><li>ビジネスの現場に携わっていたことを生かし、履修者の持っている問題</li></ul>	意識やリサーチクエ	スチョンを、実践的な値	曲値にもつなけられるような指
  日本語以外の言語	こよる授業			
授業予定一覧	さとは(講義概要を含む)			
第 2 回 生活を	り巻く環境変化 (少子高齢社会、環境問題など)			
第 3 回 ライフ	プランニング(生活設計) なと企業経営(類似と相違)			
第 5 回 経営戦闘	<b>各論</b>			
	- -ィング戦略論(1)STP -ィング戦略論(2)4P			
第 8 回 ブラン	*戦略			
第 9 回 ケース 第 10 回 生活に	、タティ Eかす企業経営			
第 11 回 生活資源				
第 13 回 消費者	問題と消費者市民社会			
	ァルデザインと倫理的消費 蚤済学とマクロ経済学			
<u> </u>				

2020/ 0/
定期試験
期末レポート
 試験のフィードバックの方法
manabaなどを用いて個別にフィードバックを行う。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
自分の問題意識を明確に持ち、自主的により多くの既存研究にあたり、知識を広げるとともに自分なりの見方や論点を授業前に見つけておくことが必要である。
授業はそれをもとにしたディスカッションが主なものとなる。
従って授業の前後で同等の(少なくともそれぞれ45分以上の)学習が不可欠である。
<u>必携書(教科書販売)</u>
必携書・参考書(教科書販売以外)
(参考書) 『ミクロ経済学』西村和雄(東洋経済新報社)
『マクロ経済学』斎藤誠他(有斐閣)
他にもテーマに応じて参考になる図書、資料を適宜紹介する。
オフィスアワー
月曜4限
連絡先
toyota@m. ndsu. ac. jp
留意事項
履修者の研究テーマに応じて内容を変更することがある。

生活経営学特論!! 授業コード	M7315  科目ナンバリング   開講年度:	単位数	
担当者氏名	M/315	T-MI  LUZO千度界と樹	
時間割備考			
授業形態(主) 授業形態(副)	1講義		
担当形態 研究分野 (大学院)	単独   体注経常論		
本授業の概要		- 豊か - まの際 - 人衆わじの仲の奴曹田弘 - 中味ナシュ	+ 7 l. l.
もに、生活を設計でおいた。	-イング(よい生活)を実現するためのライフマネジメントとはいかなるものかを ける前提となる、個人の価値観にも焦点をあてる。 圣営・経済の観点から見る新しい試みとして消費者行動論、行動経済学を取り上け		1.9 822
アクティブラーニン	ノグの実施内容 おんぱん アイス・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・	対応するディプロマポリシー	
到達目標		(1知識・技能/2思考・判断・表現力/	3主体性)
	通じて、生活経営に関する現実と理論を習得するとともに、課題の発見、仮説の立 もまる能力を養う。	「案、説得的 知識・技能/思考・判断・表現力	
自らの関心に	C応じて、資料やデータを取集し、それをまとめて効果的な発表をすることができ	きる。    思考・判断・表現力/主体性	
3			
4			
5			
成績評価の基準	長内容・姿勢(75%)	対応する到達目標の番号 1/2/3	
1			
2 期末レポート	~ (25%)	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教員 実務経験の授業への			
長年、企業人として 導を心掛ける。	こビジネスの現場に携わっていたことを生かし、履修者の持っている問題意識やり	J サーチクエスチョンを、実践的な価値にもつなげられ	るような指
日本語以外の言語(	こよる授業		
授第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	意の構造分析 ウニズムの機能と理論 意金とキャリア論 と業・NPOの活動と役割 を融政策 ベル経済と地域経済 イナブルな社会とは 等ニーイングと主観的幸福感 テ動の基本モデル ウアノマリー 等学で生活経営を考える 理学とウェルビーイングの実現 削る地域づくり		

2320/ 0/
定期試験
期末レポート
試験のフィードバックの方法
manabaなどを用いて個別にフィードバックを行う。
*
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 自分の問題意識を明確に持ち、自主的により多くの既存研究にあたり、知識を広げるとともに自分なりの見方や論点を授業前に見つけておくことが必要である。
自力の问题意識を明確に持ち、自主的により多くの成件研究にめたり、知識を広けるとこもに自力なりの兄力や論点を授業前に兄づけておくことが必要である。 授業はそれをもとにしたディスカッションが主なものとなる。
従って授業の前後で同等の(少なくともそれぞれ45分以上の)学習が不可欠である。
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
(参考書) 『ミクロ経済学』西村和雄(東洋経済新報社) 『マクロ経済学』斎藤誠他(有斐閣)
他にもテーマに応じて参考になる図書、資料を適宜紹介する。
オフィスアワー 月曜4限
<b>月唯4</b> 版
連絡先
toyota@m. ndsu. ac. jp
留意事項 履修者の研究テーマに応じて内容を変更することがある。
腹形もの研究ナーマに応じて内谷を変更することがある。

授業コード	M7330    科目ナンバリング     開講年	F度学期 /	単位数 2023年度第1期	2単位
担当者氏名	葉口 英子			
時間割備考				_
授業形態(主)	1 講義 2 演習			
授業形態(副) 担当形態	2 演習  単独			
研究分野(大学院) 本授業の概要	生活経営論			
私たちは、あり。	とあらゆる財・サービスに囲まれて生活をしている。そうした環境において私 <i>†</i> は、基礎経済学視点から、まず現代の経済社会や市場の成り立ちに対する理解で 。			
アクティブラーニ	ングの実施内容 調査学習			
到達目標			対応するディプロマポリ (1知識・技能/2思考	ノシー ・判断・表現カ/3主体性)
現代の経済ネ 1	吐会と消費者の活動に関する基礎的な知識や理論を説明できる。		知識・技能	
	吐会と消費者の活動に関して、自身の問題意識と照らし合わせ、調査学習を実行	行できる。	思考・判断・表現力/主	E体性
3				
4				
5				
成績評価の基準 』 消費経済学の	D基礎的な知識や理論の習得度についてディスカッションとレポートの両方で <b>診</b>	評価する。	対応する到達目標の番号 1/2	7
「ディスカッシ	ション (30%)			
2 レポート(7	رە <sup>ر</sup> ن		1/2	
3				
4				
5				
実務経験のある教 実務経験の授業へ(	員による授業科目 57年 東京社			
日本語以外の言語に				
授業予定一覧				
1. 経済会議 (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	法則 か 制約 と無差別曲線 定 費 得効果 曲線 力性			

ㅁ Hu 라타
定期試験
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
予習)各回の授業前に備えて、テキストを熟読する(1時間)。 復習)各回の授業後に再度、習得した内容に対し理解を深める(1時間)。
後百)谷凹の技未後に再及、百行した内台に対し垤胜を床める(「時间)。
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
場合・受わる(教科音級元成分) 嶋村紘輝・酒井徹(著)「経済と消費者(入門 消費経済学 1)」2009年, 慶應義塾大学出版会
青木幸弘・新倉貴志・佐々木壮太郎・松下光司 (著) 「消費者行動論」2012 年有斐閣
オフィスアワー
オフィスアワーについては第1回目の授業にて周知する。
連絡先
haguchi@m. ndsu. ac. jp
留意事項
授業に関する連絡、資料のやりとり、事前事後課題の提出などmanabaを活用する場合がある。

消費経済学特論Ⅱ	171 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	単位数	2単位
授業コード	M7335       科目ナンバリング       開講年度学期       葉ロ 英子	2023年度第2期	
担当者氏名			
時間割備考			
授業形態(主)	1講義		
授業形態(副) 担当形態	2 演習  単独		
研究分野(大学院			
本授業の概要	(4) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		
また ICT 時代を選	経済学視点から、消費者の意思決定や消費行動・心理について知識を深める。 『えた新しいマーケティングやブランド戦略について、市場や消費者行動を捉え、現代の消費	社会に対する洞察をおこなう。	
アクティブラーニ	ングの実施内容    調査学習	対応するディプロマポリシー	
到達目標		(1知識・技能/2思考・判断	・表現力/3主体性)
消費、貯蓄、 1 1	、投資といった経済行動の意思決定に関する知識や理論を説明できる。	知識・技能	
自身の研究・	テーマについて消費経済学の視点から考察できる。	思考・判断・表現力/主体性	
3			
4			
5			
成績評価の基準	の知識や理論の習得度に加え、それらを自身の研究テーマへと結びつける考察の深度について	対応する到達目標の番号	
	小論文による総合評価とする。		
2 小論文 (60%	6)	1/2	
3			
4			
5			
実務経験のある教	目による将業科目		
実務経験の授業へ	の活用方法		
	i- L 7 In W		
日本語以外の言語 授業予定一覧	こよる授業		
6. 高商品におけ 7. 消費者行動とマ 8. 消費費者行動との 9. 消費買意思決定 10. 購買意思決定 11. 情報と消費者	で合理的か? 間割引率の関係 買行動 商品に対する消費者心理 る消費者心理 対する総称ブランドの活用 ーケティレーム のがあかけ の活動 と不完全情報の市場 解決策		

定期試験
試験のフィードバックの方法
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
(予習)授業ではmanabaを活用して、次週のテーマに関する参考資料を読むこと、動画に目を通すといった事前課題を出す(約1時間)。
(復習)講義内で課題レポートに取り組む作業を課す。授業内の資料は、授業後にmanabaで提示するので復習すること(約1時間)。
必携書・参考書(教科書販売以外) 大垣昌夫・田中沙織(著)「行動経済学(新版)」有斐閣 2018 年
田中洋(著)「消費者行動論」中央経済社 2015 年
ナフィスアワー
オフィスアワー オフィスアワーは授業中に指示する。質問は随時メールにて受け付ける。
カンイスノン は以来でに出かする。見間は魔時アールにく文化刊の。
連絡先
haguchi@m.ndsu.ac.jp
留意事項
授業に関する連絡、資料のやりとり、事前事後課題の提出などmanabaを活用する場合がある。

生活情報処理特論 I 授業コード	M7340   科目ナンバリング   開講年度学期	単位数 2023年度第1期	2単位
担当者氏名	大東 正虎	2020年12カ「朔	
時間割備考			
授業形態(主) 授業形態(副)	1 講義		
担当形態	単独		
研究分野 (大学院) 本授業の概要	生活経営論		
情報化の進展に伴いル、情報通信ネットまた、情報通信ネットまた、情報通信ネットをして、発信者のエ	ハ、人々の生活や生活産業も変化してきている。本講義では、情報ネットワークの基礎を持 トワークの仕組み、情報セキュリティを修得する。 ットワークを使った生活産業と消費者とのコミュニケーション手段が増えていることから、 立場から情報デザイン、著作権の考え方を修得し、またウェブページ作成によって発信によ	その違いを説明できるようにす	
アクティブラーニン	ングの実施内容 	一一対応オスギップロフポリン	
到達目標		対応するディプロマポリシ (1知識・技能/2思考・¥	
情報通信ネッ 1	ットワークの基礎的な考え方について説明することができる。	知識・技能	
コミュニケー	-ション方法の違いが説明できる。	知識・技能	
情報デザイン 3	ン、著作権を説明することができる。	知識・技能/思考・判断・	表現力
ウェブペーシ	ジを作成することができる。	知識・技能/思考・判断・	表現力/主体性
5			
成績評価の基準		対応する到達目標の番号	
1 通常レポート		1/2/3/4	
2 最終レポート	(50%)	1/2/3	
3			
4			
5			
実務経験のある教員 実務経験の授業への	員による授業科目 D活用方法	-	
	_ L 7 LT 44		
日本語以外の言語( 授業予定一覧			
5. 情報報では、 ッリラー では、	ける情報化の進展 トワークの仕組み (1) コンピュータネットワーク トワークの仕組み (2) インターネットの技術		

2020	-, -,
定期試験	
上 州 瓦 联	
最終レポート課題を提出	
試験のフィードバックの方法	
manaba folio などで解説を掲載する。	
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間	
予習として、配布されたプリントの内容を事前に読み、講義時に操作ができるように準備しておくこと(約30分)。	
復習として、内容や手順などを整理し、身近な事柄と関連づけて応用方法を考えること(約30分)。	
必携書(教科書販売)	
必携書・参考書(教科書販売以外)	
必要に応じて資料を配布する。	
オフィスアワー	
月曜日4限。またはメールで受け付ける。	
77-11-11-12-0 67-167 77 (2.77)77 30	
連絡先	
daito@m.ndsu.ac.jp	
au roem. Had. do. jp	
国意事項	
歯息争項 身近な事柄と関連づけながら、積極的な参加を望む。	
今近は事柄と関連してながら、積極的な参加を重む。  各回 USB フラッシュメモリを必ず持参すること。	
百回 000 フラフンエグ モリを必ず 行受すること。	
	ļ

<u>生活情</u> 授業コ	報処理特論[] 一ド		開講年度学期	単位数 2023年度第2期	2単位
担当者		大東 正虎		2020年反射之前	
12 11	Д.П				
時間割	備考				
授業形	態(主) 態(副)	1 講義			
担当形	態	単独			
	·野(大学院) の概要	生活経営論			
		解するために、モデル化の方法とアルゴリズムを修得す ョンを学習することによって将来の予測を立てることが			
		グ技術を身に付けることによって、パターン化されたが		なる。	
アクテ	・ィブラーニン	グの実施内容		I+1+++	
到達目	標			対応するディプロマポリシ (1知識・技能/2思考・	
	モデル化とア	ルゴリズムについて説明することができる。		知識・技能/思考・判断・	
1					
2	VBA を使った	プログラミングができる。		知識・技能/思考・判断・	表現力/主体性
				La sub	±*2.1
3	Excel を使っ	たデータベース活用ができる。		知識・技能/思考・判断・	表現力
	Evect + H	+ 2 . 2 . 1 2		ケ마하는 나는 사는 기미 크로 마네트	ᆂᅖᆂᄼᆉᅛᄴ
4	Excel を使っ	たシミュレーションができる。		知識・技能/思考・判断・	· 表現刀/王体性
5					
成績評	価の基準			対応する到達目標の番号	
	通常レポート	(50%)		1/2/3/4	
2	最終レポート	(50%)		1/2/3/4	
2					
3					
4					
5					
	験のある教員	による授業科目			
	験の授業への				
	以外の言語に	よる授業			
1. <del>T</del>		ュレーションの必要性			
	:デル化の方法 プログラムとア	と種類 ルゴリズム(1)プログラム開発と記述方法			
4. ブ	゚ログラムとア	ルゴリズム(2)処理の手順			
		プログラミング(1)VBA の特徴と基本構文 プログラミング(2)シートを操作			
		ログラミング(3)セルを操作 ログラミング(4)変数の利用			
9. VE	BA を使ったフ	ログラミング(5)条件文の実行			
		ログラミング (6) 繰り返し処理の実行 ログラミング (7) ダイアログボックスの活用			
		データベース (1) データの整理 データベース (2) 見やすい資料作成			
14. Ex	ccel を使った	シミュレーション(1)時系列データの分析			
15. E	(Cel を使った	シミュレーション (2) 住宅ローン			

定期試験
最終レポート課題を提出
試験のフィードバックの方法
manaba folio などで解説を掲載する。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
予習として、配布されたプリントの内容を事前に読み、講義時に操作ができるように準備しておくこと(約30分)。
復習として、内容や手順などを整理し、身近な事柄と関連づけて応用方法を考えること(約30分)。
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
必要に応じて資料を配布する。
オフィスアワー
月曜日5限。またはメールで受け付ける。
連絡先
daito@m.ndsu.ac.jp
留意事項
身近な事柄と関連づけながら、積極的な参加を望む。
各回 USB フラッシュメモリを必ず持参すること。

生活経営論演習! 授業コード	M7250 (封日十5,ボロ5.ガ	問護在商受期	単位数	2単位
	M7350	開講年度学期	2023年度第1期	
担当者氏名				
時間割備考				
授業形態(主)	1講義			
授業形態(副) 担当形態	単独			
研究分野 (大学院) 本授業の概要	生活経営論			
人間生活の主要な表 査、分析提案(発表 社会科学研究の方法	基盤を構成する生活経営分野に関する演習を行う。経済学、経営学的 長を含む)する力を養う。 法論を身につけることに力点を置く。	りな視点で社会及び人間生活	舌を観察し、社会課題を取 <sup>り</sup>	<b>リ上げたうえで、それを調</b>
アクティブラーニン	ノクの美施内容		対応するディプロマポリシ	_
到達目標			(1知識・技能/2思考・	判断・表現力/3主体性)
経済学、経営   1	営学的方法論を習得し、適切なデータの解析ができる。		知識・技能/思考・判断・	表現力
社会課題に限	<b>引する重要な論点を抽出し、言語化し、理論化できる。</b>		思考・判断・表現力/主体	性
3				
4				
5				
成績評価の基準 1 授業中の発表	長内容・姿勢(75%)		対応する到達目標の番号 1/2/3	
期まいポート			1/2	
2	(2070)		17.2	
3				
4				
5				
実務経験のある教員 実務経験の授業への	D活用方法			
	ドスに携わった経験を活かし、履修生の問題意識に現実性を加味する 	るような指導を心がける。		
日本語以外の言語I 授業予定一覧				
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	経済学 経済政策論 通報告(1) RQ の明確化 通報告(2) fact の確認 通報告(3) 既存研究のレビュー 通報告(4) データの解析 等学 丁動論 等学 で(1) 論文構造の確定 で(2) 独自性の明確化			

定期試験
期末レポート
試験のフィードバックの方法
manabaなどを用い、個人別にフィードバックする
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
論文作成が目的であるため、少なくとも3時間以上の準備は必要である。データの収集、既存研究のレビュー、考察、分析などに時間を費やす。
授業はその報告とディスカッションの場に過ぎないことを理解すること。
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
検索資料、文献など。
(参考書) 『ミクロ経済学』西村和雄(東洋経済新報社)
『マクロ経済学』斎藤誠他(有斐閣)
+
オフィスアワー 月曜4限。変更があれば連絡する。
万曜中は、久文がのれば年間でも。
連絡先
toyota@m. ndsu. ac. jp
留意事項
自ら進んで課題に取り組む「積極性」が不可欠である。

担当者氏名時間割備考	M7355    科目ナンバリング 豊田 尚吾 1 講義	·	開講年度学期	2023年度第2期	
時間割備考	1 藩盖				
	1				
授業形態(主)	1 117 12				
授業形態(副) 担当形態	単独				
研究分野 (大学院) 本授業の概要	生活経営論				
査、分析提案(発表 特にデータを用いた	「盤を構成する生活経営分野に関する演習を含む)する力を養う。 「仮説検証に力を入れる。	きた行う。経済学、経営学的な	₹視点で社会及び人間	生活を観察し、社会課題を	取り上げたうえで、それを調
アクティブラーニン	クの美施内容			対応するディプロマポリ	
到達目標		七よっち フ		(1知識・技能/2思考	・判断・表現力/3主体性)
在海子、栓塞 1 1	学的方法論を習得し、適切なデータの解	がかできる。		知識・技能/思考・判題	π・衣玩刀
社会課題に関 2	<b>する重要な論点を抽出し、言語化し、理</b>	論化できる。		思考・判断・表現力/ヨ	上体性
3					
4					
5					
成績評価の基準	- 内容・姿勢(75%)			対応する到達目標の番号 1/2/3	<del>-</del>
'					
2 期末レポート	(25%)			1/2	
3					
4					
5					
実務経験のある教員 実務経験の授業への	<u>(による授業科目</u> )活用方法	実務経験あり			
	スに携わった経験を活かし、履修生の問	題意識に現実性を加味するよ	こうな指導を心がける	0	
日本語以外の言語に 授業予定一覧	こよる授業				
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	記(1) 改善策 記(2) 取り組みの方向性明確化 )基本 -イング論 (アーケティング論 行動論(応用) 題研究(1) 論文構造の確定 題研究(2) データの分析(基礎統計) 題研究(3) データの分析(多変量解析) 経済学 経済学 (1) 経済を考える (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4				

定期試験
期末レポート
試験のフィードバックの方法
manabaなどを用い、個人別にフィードバックする
 準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
辛調子自(ア自・複百)に必要な子修内台・時间  論文作成が目的であるため、少なくとも3時間以上の準備は必要である。データの収集、既存研究のレビュー、考察、分析などに時間を費やす。
授業はその報告とディスカッションの場に過ぎないことを理解すること。
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)
検索資料、文献など。 (参考書) 『ミクロ経済学』西村和雄(東洋経済新報社)
(参考者)   『マクロ経済子』凸竹和雄(宋/年経済制報社)   『マクロ経済学』斎藤誠他(有斐閣)
オフィスアワー
月曜4限。変更があれば連絡する。
連絡先
toyota@m. ndsu. ac. jp
留意事項
自ら進んで課題に取り組む「積極性」が不可欠である。

生活環	<u>境学特論I</u> ード	M7410   科目ナンバリング	開講年度学期	単位数	2単位
		M7410   科目ナンバリング	刑舑干及子期	2023年度第1期	
担当者	戊名				
時間割	 備考	院生と協議の上で設定			
授業形	態(主)	1 講義			
	態 (副)				
研究分	·野(大学院)	<u>単独</u> 生活環境論			
本授業 本授業	の概要 では、身近な	な地域環境の視点から自然の見方や文化、生活スタイル等	<b>を再認識したり、見直したりして、</b>	新しいまちづくり、および生	E活環境づくりを考える。
アクテ	ィブラーニン	ングの実施内容			
到達目	標	•		対応するディプロマポリシ	·一 似紫,丰珥韦/?主体做)
I		ととに広い視野とバランスのとれた考え方を修得する。		(1知識・技能/2思考・ 知識・技能/思考・判断・	
1	既存の概念や	○価値観にとらわれない考え方を修得する。		思考・判断・表現力	
2					- but
3	日身の生活均	<b>環境や生活スタイルに応用する。</b>		思考・判断・表現カ/主体	\1±
4					
5					
成績評	価の基準	リ組み姿勢・リアクションペーパー (30%)		対応する到達目標の番号	
1	授業への取り	7組み会勢・リアクションへ―ハー(30%)		1/3	
2	定期試験(7	0%)		1/2/3	
3					
4					
5	EA 0 + 7 +/-1	3 7 15 16 .			
<u>実務経</u> 実務経	<u>:験のある教∫</u> :験の授業へ0	員による授業科目 の活用方法			
日本語	以外の言語(	こよる授業			
	定一覧 授業の概論				
2345678910112.3.13.13.13.13.13.13.13.13.13.13.13.13.1	然然然域域域域化近近域ちととと環環環環景活なななとづめののの境境境観動緑緑緑くは付付付(((()化化化動りでは、(((手へ))をきき身の()が、(())のののでは、(())のののでは、(())のののでは、(())のののでは、(())のののでは、()ののののでは、()のののののでは、()のののののでは、()のののののでは、()のののののでは、()ののののののでは、()のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	然) 壁面緑化) 屋上緑化) その他の緑化)			

定期試験
課題レポート
試験のフィードバックの方法
必要に応じてマナバ等を通じて適宜個別に行う。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
授業中に扱った内容を参考書やノート、教材等を使用などして、理解を深めておいてください。 (2時間)
必携書(教科書販売)
特に指定しません。
・ 必携書・参考書(教科書販売以外)
必然者・参考者 (教科者販売以外)  参考文献・資料は適宜、紹介ないし配付する。
<b>変布入制「具作は趣意、相力ないし目的する。</b>
オフィスアワー
授業後および在室中は随時受け付けます。
連絡先
s4026@m. ndsu. ac. jp
留意事項
開講日:4/15(土)、4/22(土;補講日)、5/27(土;補講日)、6/10(土;補講日)、7/1(土)、7/15(土)、7/22(土;補講日)、7/29(土)の予定で、
1・2限(2コマ)の集中講義です。ただし、休講の場合は補講日を別に定めます。

### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	生活環境 授業コー		W7415 <b> </b> 科目ナンバリング	開講年度学期	単位数 2023年度第2期	2単位
等時価権等			174日	刑調平及子別	2020平皮男と粉	
接着影響 (場)   1   1   1   1   1   1   1   1   1	時間割備	考	院生と協議の上で設定			
国書物を   国現	授業形態	(主)	1講義			
日本に登り他等 本院をでは、中球球機を地域環境の組合からさまざまな環境開墾について限状の形態や分析等を行い、自身の生活スタイル等を再認識したり、見蓋したりして、将来の特別可能と生活環境でも必要機会と地域環境の関係というシスのとれた考え方を修得する。	授業形態 担当形態	(副)	単独			
本等素では、地球程度と影響環境の受済からさまざまで経境開墾について現状の配信や分析等を行い、自身の生活スタイル等を有認識したり、見直したりして、得来の開発の単位生活環境づくりを考える。    アクティブラーニングの実施内容	研究分野	(大学院)	生活環境論			
到達目標	本授業での持続可	は、地球環能な生活環	境づくりを考える。	ついて現状の把握や分析等を行い、自身	<b>身の生活スタイル等を再認識した</b>	り、見直したりして、将来
1			プロ夫肥内谷		対応するディプロマポリミ	/ <b>—</b>
最終知識をもとに広い視野とパランスのとれた考え方を修得する。   知識・技能/思考・判断・表現力   思考・判断・表現力   思考・判断・表現力   思考・判断・表現力/主体性   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日					(1知識・技能/2思考・	判断・表現力/3主体性)
2		礎知識をも	とに広い視野とバランスのとれた考え方を修得		知識・技能/思考・判断・	表現力
3		存の概念や	価値観にとらわれない考え方を修得する。		思考・判断・表現力	
5   対応する到達目標の番号   対応する到達目標の番号   1/3   1/3   1/2   2   定期試験 (70%)   1/2   3   1/2   3   3   4   5   5   5   5   5   5   5   5   5		身の生活環	境や生活スタイルに応用する。		思考・判断・表現力/主体	<b>b性</b>
成称   一	4					
1 授業への取り組み姿勢・リアクションペーバー (30%) 1/2/3 1/2/	5					
1 授業への取り組み姿勢・リアクションペーバー (30%) 1/2/3 1/2/	成績評価	の基準			対応する到達目標の番号	
2	捋:	業への取り	組み姿勢・リアクションペーパー(30%)			
3 4 5 東務経験のある教員による授業科目 東務経験の必業への活用方法  日本語以外の言語による授業 授業予定一覧 1 本授業の概論 2. 地球環境の現状 3. 温暖化問題 4. 水問題 5. 食料問題 5. 食料問題 5. 食料問題 6. 食料問題 6. 食料問題 7. エネルギー問題 8. 新エネルギー問題 8. 新エネルギーー 9. 地域とエネルギーー 9. 地域とよれルギーー 10. 人工化学物質 11. 化学物質と環境汚染 12. ごみ問題 13. ブラスチックと生活スタイル 14. 持務可能な生活環境とは 15. まとめ	2 定	期試験 (70	(%)		1/2/3	
4						
東務経験のある教員による授業 東務経験の授業への活用方法  日本語以外の言語による授業 授業予定一覧  1. 本授業の概論 2. 地球環境の現状 3. 温暖化問題 4. 水問題 5. 食料問題 6. 食料問題 6. 食料問題 8. 新エネルギー問題 8. 新エネルギー問題 8. 新エネルギー 10. 人工化学物質 11. 化学物質と環境汚染 12. ごみ問題 13. プラスチックと生活スタイル 14. 持続可能な生活環境とは 15. まとめ	_					
日本語以外の言語による授業	5					
日本語以外の言語による授業 授業予定一覧 1. 本授業の概論 2. 地球環境の現状 3. 温暖化問題 4. 水問題 5. 食料問題 6. 食料自給と地産地消 7. エネルギー問題 8. 新エネルギー 9. 地域とエネルギー 9. 地域とエネルギー 10. 人工化学物質 11. 化学物質と環境汚染 12. ごみ問題 13. ブラスチックと生活スタイル 14. 持続可能な生活環境とは 15. まとめ	実務経験	のある教員	による授業科目			
授業予定一覧         1. 本授業の概論         2. 地球環境の現状         3. 温暖化問題         4. 水問題         5. 食料問題         6. 食料自給と地産地消         7. エネルギー問題         8. 新エネルギー         9. 地域とエネルギー         10. 人工化学物質         11. 化学物質と環境汚染         12. ごみ問題         13. プラステックと生活スタイル         14. 持続可能な生活環境とは         15. まとめ	美務経験	の授業へ <i>0</i> .	)古用万法 ————————————————————————————————————			
授業予定一覧1. 本授業の概論2. 地球環境の現状3. 温暖化問題4. 水問題5. 食料問題6. 食料自給と地産地消7. エネルギー問題8. 新エネルギー9. 地域とエネルギー10. 人工化学物質11. 化学物質と環境汚染12. ごみ問題13. プラステックと生活スタイル14. 持続可能な生活環境とは15. まとめ		N 0 = 3 = 1	. L 7 177 446			
1. 本授業の概論 2. 地球環境の現状 3. 温暖化問題 4. 水問題 5. 食料問題 6. 食料自給と地産地消 7. エネルギー問題 8. 新エネルギー 9. 地域とエネルギー 10. 人工化学物質 11. 化学物質 11. 化学物質 12. ごみ問題 13. プラスチックと生活スタイル 14. 持続可能な生活環境とは 15. まとめ	日本語以 授業予定	外の言語に 一覧	よる授業			
	12345678910112. 本地温水食食工新地人化ごプ持ま本地温水食食工新地人化ごプ持ま13145.	業環化題問自ルネと化物問ス可めの境問 題給ギルエ学質題チ能概の題 と一ギネ物と ツな論現 地間一ル質環 ク生る ほっぱい ほうしょ はいしい かいしい かいしい あまり きんしい あまり きんしい きんしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はい	:地消 i :一 i汚染 生活スタイル			

定期試験
課題レポート
試験のフィードバックの方法
必要に応じてマナバ等を通適宜個別に行う。
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
授業中に扱った内容を参考書やノート、教材等を使用するなどして理解を深めておいてください。 (2時間)
<u> </u>
必携書(教科書販売) 特に指定しません。
何に指定しません。
必携書・参考書(教科書販売以外)
参考文献・資料は適宜、紹介ないし配付する。
STAIN MATICALLY MATERIAL STATES OF THE STATE
オフィスアワー
授業後および在室中は随時受け付けます。
u 連絡先
s4026@m. ndsu. ac. jp
o readilitinada. do. jp
留意事項
開講日:10/7(土)、11/4(土)、11/18(土)、12/2(土;補講日)、12/9(土)、12/23(土)、1/20(土)、1/30(火;補講日)の予定で、1・2限(2コマ)の集
中講義です。また、休講の場合は補講日等を別に定めます。

<u>住環境特論Ⅰ</u> 授業コード	M7420    科目ナンバリング	開講年度学期	単位数	2単位
	M7420   科目ナンバリング   成清 仁士	用碘十及子粉	2023年度第1期	
担当者氏名				
時間割備考				
授業形態(主	) 1講義			
授業形態(副 担当形態				
研究分野(大				
本授業の概要	上で大切な住環境・都市環境について講術する。歴史を振り返るこ			
	上で入切な任環境・都市環境について講術する。歴史を振り返るこ これからの日本に求められる住環境を探求する。			
アクティブラ	ーニングの実施内容 発見学習			
到達目標			対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断	· 表現力/3 主体性)
これか	らの住まい方・生活のあり方を提言できる能力・思考を修得する。		思考・判断・表現力	<b>公约</b> /0/0 工件任/
1				
2				
3				
4				
5				
成績評価の基	進		対応する到達目標の番号	
講義の	内容についての発表・口頭による論述内容・レポート課題・定期試験等を		1	
	て評価する。			
2				
3				
4				
-				
5				
<u>実務経験のあ</u> 実務経験の授	る教員による授業科目 業への活用方法			
> 1311±137 + 12	The Trial of the T			
日本語以外の 授業予定一覧	言語による授業			
第 1 回:授	業ガイダンス			
第 2 回:日 第 3 回:日	本における住環境形成史-古代 本における都市史-古代			
第 4 回:日	本における住環境形成史-中世			
第 5 回:日第 6 回:日	本における都市史-中世 本における住環境形成史-近世			
第 7 回:日	本における都市史-近世			
	レゼンテーション、講評 代以降の住まい方論–戦前			
	代以降の住まい方論−戦後 本の都市計画の歴史−戦前			
第 12 回:日	本の都市計画の歴史−戦後			
	本のまちづくりの歴史 本のまちづくりの現在			
第 15 回:定	期試験			
第 16 回:授	業ふりかえり			

定期試験	
試験のフィードバックの方法	
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間	
<b>という (水に) 中の「土)</b>	
必携書(教科書販売)	
必携書・参考書(数科書販売以外)	
必携書・参考書(教科書販売以外) テーマごとに適宜、紹介・推薦する。	
オフィスアワー	
オフィスアワー 月3限	
連絡先	
narikiyo@m. ndsu. ac. jp	
57. 辛·吉·基	
留意事項 テーマごとの課題を講義ごとにとりまとめ、発表することも求める。	
/ 、ここい $\mu$ RE $c$ $\mu$ PRE $c$ $\mu$ PRE $c$ $\mu$ RE	

住環境特論Ⅱ 授業コード	M7425   科目ナンバリング	開講年度学期	単位数 2023年度第2期	2単位
担当者氏名	M/425	河畔十汉士郑	といとい十段	
E-1000				
時間割備考				
授業形態(主) 授業形態(副)	1講義			
担当形態	単独			
研究分野 (大学院) 本授業の概要	生活環境論			
に、これからの日本	超高齢化・少子化・景観・まちづくり等のキーワードをもとなれる住環境を探求する。			
アクティブラーニン	・グの実施内容 発見学習		対応するディプロマポリシー	
到達目標			(1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
これからの任	Eまい方・生活のあり方を提言できる能力・思考を修得する。		思考・判断・表現力	
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準	こついての発表・口頭による論述内容・レポート課題・定期試験等を		対応する到達目標の番号	
1 総合して評価	- ノいてい光衣・ロ域による調型内谷・レバート課題・定期試験寺を [する。			
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員	による授業科目			
実務経験の授業への	D活用万法			
	_ 1. 7.477.30.			
日本語以外の言語( 授業予定一覧				
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	環境デザイン論の変遷-近世以前 環境デザイン論の変遷-近現代 最親とまちづくり らける歴史的景観とまちづくり-成果と課題 シテーション、講評 最後とまちづくりに係る考察 Eとりまく日本の状況変化-内的要因 Eとりまく日本の状況変化-外的要因 の住環境形成に向けた問題分析 のの住環境形成に向けた展望			

定期試験	
試験のフィードバックの方法	
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間	
<b>という (水に) 中の「土)</b>	
必携書(教科書販売)	
必携書・参考書(数科書販売以外)	
必携書・参考書(教科書販売以外) テーマごとに適宜、紹介・推薦する。	
オフィスアワー	
オフィスアワー 月3限	
連絡先	
narikiyo@m. ndsu. ac. jp	
57. 辛·吉·基	
留意事項 テーマごとの課題を講義ごとにとりまとめ、発表することも求める。	
/ 、ここい $\mu$ RE $c$ $\mu$ PRE $c$ $\mu$ PRE $c$ $\mu$ RE	

食環境特論 I 授業コード	M7430   科目ナンバリング	開講年度学期	単位数   2023年度第1期	2単位
			2023年度第1朔	
時間割備考				
授業形態(主) 授業形態(副) 担当形態	1 講義			
研究分野(大学院)	単独   生活環境論			
本授業の概要食環境の変容とメダ	スボリックシンドロームとの関連性について論ずるとともに、			
「食」によるメタ <del>7</del> 究する。	<b>ドリックシンドロームの予防・改善が可能かどうかについて考</b>			
アクティブラーニン	yグの実施内容 ディベート			
到達目標			対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断	・表現力/3主体性)
生活習慣に走 1	因する疾患の予防・改善が可能かどうかについて考究する		知識・技能/思考・判断・表現	
2				
3				
4				
5 成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
受講態度20点 1	Ţ.		<u> </u>	
2 論文読解20点	į		1	
課題発表30点	Ţ.		1	
連組しポート	- 30点		1	
4				
5 実務経験のある教員	A/C トス垣業利日			
実務経験の授業への	)活用方法			
日本語以外の言語! 授業予定一覧				
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	ソックシンドロームとは リックシンドロームと食生活 リックシンドロームとロコモティブシンドローム リックシンドロームとフレイル を全また・ こ食生活 そ化と食生活 を生活 複病と食生活			

- No. 100
定期試験
試験のフィードバックの方法
課題発表やレポートに対する講評を行う
進歴学習(N. 2012年から 1912年から 1912年 1912
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間 事前に課題論文の読解 45分 講義終了後に課題の抽出と復習 45分
字的には返酬されば、 45分 講義終了後に課題の抽出と復習 45分
必携書(教科書販売)
少防育(教育者服)(C)
必携書・参考書(教科書販売以外)
国内外の学術論文を教材とし、適宜指示する。
オフィスアワー
月曜日4限目
連絡先
k4kobaya@post. ndsu. ac. jp
留意事項
特になし

食環境特論Ⅱ 授業コード	M7435   科目ナンバリング	開講年度学期	単位数 2023年度第2期	2単位
担当者氏名	小林 謙一			
—————————— 時間割備考				
授業形態 (主)	1講義			
授業形態(副) 担当形態	単独			
研究分野 (大学院) 本授業の概要	生活環境論			
ころ」の病の改善・	ころ」との関連性について論ずるとともに「食」による「こ 予防が可能かどうかについて考究する。			
アクティブラーニン	ングの実施内容 ディベート		対応するディプロマポリシー	
到達目標	に起因する疾患の予防・改善が可能かどうかについて考究する		(1知識・技能/2思考・判断・ 知識・技能/思考・判断・表現	
1	に他囚する疾患の予例・以音が可能がとうがにういて考えする		如誠" 权能 / 心名"刊剧" 权坑	刀〉工件任
2				
3				
4				
5			<u> </u>	
成績評価の基準 受講態度20点	į		対応する到達目標の番号 1	
2 論文読解20点	į		1	
課題発表30点	į		1	
は 課題レポート	- 30点		1	
5				
実務経験のある教員	による授業科目			
実務経験の授業への	D活用方法			
日本語以外の言語に 授業予定一覧				
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	5」とは 5」の疾患について 5」と食生活について DULL(疲労科学概論) E患との関連性 E生活について &について &について			

定期試験
試験のフィードバックの方法
課題発表やレポートに対する講評を行う
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間
事前に課題論文の読解 45分 講義終了後に課題の抽出と復習 45分
即が表示。1 以下の水色シノ川山 C   及 日   T0 / J
必携書(教科書販売)
必携書・参考書(教科書販売以外)   国内はの党体論文を教せたし、第2年による
国内外の学術論文を教材とし、適宜指示する。
オフィスアワー
月曜日4時限目
連絡先
k4kobaya@post. ndsu. ac. jp
如 <del>·</del> 本·王
留意事項 特になし
1771~'& ♥

生活環境論演習I 授業コード	M7440   科目ナンバリング	開講年度学期	単位数   2023年度第1期	2単位
担当者氏名	成清(仕士	Country to tend of FFE		
 時間割備考				
授業形態 (主)	2 演習			
授業形態(副)	単独			
研究分野 (大学院) 本授業の概要	生活環境論			
人と住まいの生活政 快適な住環境を創業	環境、そしてその集合体でもある都市環境を研究対象として、 きするための諸問題を考察する。			
アクティブラーニン	ッグの実施内容 問題解決型学習		対応するディプロマポリシー	
到達目標	- 江戸培のカリナにのいて、杜弥ナ屋即でも7世中ナ自にのは7		(1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
1	活環境の在り方について、特論を展開できる能力を身につける。		主体性	
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準 演習の内容に	こついての発表・口頭による論述内容・レポート課題・定期試験等を		対応する到達目標の番号 1	
2 総合して評価	iする。			
3				
4				
5				
実務経験のある教員 実務経験の授業への	はによる授業科目 D活用方法			
日本語以外の言語に	- よる将業			
授業予定一覧				
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	表の検討-I研究対象 表の検討-II着眼点 -要点整理 -考察 4等の報告-要点整理 4等の報告-考察 意に関する問題分析 意に関する考察 -視点の拡張 日容の比較検討報告-要点整理 日容の比較検討報告-要点整理			

定期試験	$\overline{}$
AC 701 DAVISX	$\dashv$
試験のフィードバックの方法	-
以来のフィートバックの方法	_
维排处司 / マ司 · 传司 ) ie 义王女坐板中的  叶B	-
準備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間	_
必携書(教科書販売)	$\neg$
	$\neg$
	_
必携書・参考書(教科書販売以外) テーマ毎に適宜、作成したものを配布、または紹介・推薦する。	-
<b>)一く毎に題直、作成したものを能布、または和川・推薦する。</b>	
オフィスアワー	-
オフィステラー 月3限	$\dashv$
7 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	
連絡先	$\neg$
narikiyo@m.ndsu.ac.jp	
留意事項	
各自のテーマについて十分な考察を行い、その結果をとりまとめ発表する。	

生活環境論演習II 授業コード	M7445   科目ナンバリング   -   開講年度学	単位数 <sup>至</sup> 期   2023年度第2期	2単位
担当者氏名	成清 仁士	∞ 1८∪८∪ 十皮 第 6 朔	
時間割備考 授業形態(主)	2演習		
授業形態(副)			
研究分野(大学院)	<u>単独</u> <u> </u>		
本授業の概要 人と住まいの生活理	環境、そしてその集合体でもある都市環境を研究対象として、		
快適な住環境を創造	きするための諸問題を考察する。		
アクティブラーニン	yグの実施内容 問題解決型学習 問題解決型学習 による おおおお おおお にんしょう はんしょう はんしょう はんしょ かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	対応するディプロマポリシー	
到達目標		(1知識・技能/2思考・判断	新・表現力/3主体性)
これからの <u>4</u> 1	活環境の在り方について、特論を展開できる能力を身につける。	主体性	
2			
3			
4			
5			
成績評価の基準	こついての発表・口頭による論述内容・レポート課題・定期試験等を	対応する到達目標の番号	
1 総合して評価	ita.	<u>'</u>	
2			
3			
4			
5			
実務経験のある教員 実務経験の授業への	による授業科目		
日本語以外の言語(			
授業予定一覧 第 1 回:伝統的位			
第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	所等に関する考察 E環境づくりに関する考察 E活環境に関する検討報告-I分析 E活環境に関する検討報告-I考察 他に関する検討報告-I考察 りまとめ・報告-I研究成果 のまとめ・報告-I研究成果の意義 E関する提案検討-I考察 では、一選を表表しましましましましましましましましましましましましましましましましましまし		

E期試験	
<b>は験のフィードバックの方法</b>	-
AVAN TO TO A VAN TO	
<b>∮備学習(予習・復習)に必要な学修内容・時間</b>	
· 携書(教科書販売)	
ダ携書・参考書(教科書販売以外) - 一マ毎に適宜、作成したものを配布、または紹介・推薦する。	
- 一マ毎に適宜、作成したものを配布、または紹介・推薦する。	
- フィスアワー	
13限	
直絡先	
星栓元 arikiyo@m.ndsu.ac.jp	$\longrightarrow$
arıkıyoğılı. Ilusu. ac. jp	
3意事項	
↑自のテーマについて十分な考察を行い、その結果をとりまとめ発表する。	
	j